

少年審判通訳ハンドブック

【ネパール語】

最高裁判所事務総局

はじめに

少年審判において少年や保護者などが日本語を理解できない者である場合には、適正な調査や審判を実現するために、通訳が正しく行われることが必要です。しかし、調査や審判でのやり取りを正確に通訳することは、熟練した通訳人でも難しいものと思われまゝ。まして、法律を学んだことのない方が初めて少年審判の通訳をする場合は、戸惑うことが多いと思います。そのような場合、あらかじめ、調査や審判などでよく使われる定型的表現や用語についての通訳例を承知しておくとともに、少年審判がどのような目的で、どのような手続に従って行われるのかということについて正しい予備知識を持っておくことは、適切な通訳を行うために大切なことであると思われまゝ。

このハンドブックは、少年審判の通訳をすることになった方のために、通訳人として心得ておいていただきたいと思われること、知っていること役に立つと思われることをまとめ、通訳をする際の参考としていただくために作成したもので、少年審判の概要を説明した部分、通訳に当たっての注意事項を取りまとめた部分、調査や審判などでよく使われる定型的表現の対訳部分、さらに用語の対訳部分の4編からなっています。

このハンドブックが広く少年審判の通訳に当たる方の執務の参考になれば幸いです。

平成28年3月

最高裁判所事務総局家庭局

目 次

第1編 少年審判の概要

| | |
|---------------------|---|
| 第1 少年審判の意義と基本原理 | 1 |
| 1 少年審判の意義 | 1 |
| 2 少年審判の基本原則 | 1 |
| (1) 教育主義（保護主義） | 1 |
| (2) 個別処遇の原則（処遇の個別化） | 2 |
| (3) 職権主義 | 3 |
| 第2 少年審判手続の流れ | 3 |
| 1 事件の受理 | 3 |
| (1) 対象事件 | 3 |
| ア 少年保護事件 | 3 |
| (ア) 犯罪少年 | 3 |
| (イ) 触法少年 | 3 |
| (ウ) ぐ犯少年 | 3 |
| イ 強制的措置許可申請事件 | 4 |
| ウ 準少年保護事件 | 4 |
| (2) 事件受理の態様 | 4 |
| 2 観護措置 | 4 |
| (1) 意義 | 4 |
| (2) 手続 | 5 |
| ア 通訳人の氏名などの確認及び宣誓 | 5 |
| イ 家庭裁判所調査官による面接 | 5 |
| ウ 裁判官による観護措置決定手続 | 5 |
| (ア) 少年の氏名などの確認 | 5 |
| (イ) 黙秘権及び付添人選任権の告知 | 6 |

| | |
|-----------------------|----|
| (ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取 | 6 |
| (エ) 決定の告知 | 6 |
| (オ) ウィーン条約の説明 | 6 |
| (3) 期間など | 6 |
| 3 調査 | 7 |
| (1) 裁判官による法的調査 | 7 |
| (2) 家庭裁判所調査官による社会調査 | 7 |
| 4 審判 | 8 |
| (1) 審判の開始 | 8 |
| (2) 審判の場所，関与者など | 8 |
| (3) 手続 | 9 |
| ア 審判開始の宣言 | 9 |
| イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓 | 9 |
| ウ 少年の氏名などの確認 | 9 |
| エ 黙秘権の告知 | 9 |
| オ 非行事実の審理 | 9 |
| カ 要保護性の審理 | 10 |
| キ 決定の告知 | 10 |
| (ア) 保護処分 | 10 |
| a 保護観察 | 10 |
| b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致 | 10 |
| c 少年院送致 | 11 |
| (イ) 不処分 | 11 |
| (ウ) 知事又は児童相談所長送致 | 11 |
| (エ) 検察官送致 | 11 |
| (オ) 試験観察 | 12 |

| | | |
|-----|-----------------------|----|
| | (カ) 没取 | 12 |
| | (キ) 訴訟費用の負担 | 13 |
| | ク 保護処分の趣旨の説明 | 13 |
| | ケ 抗告権の告知 | 13 |
| | コ ウィーン条約の説明 | 13 |
| 5 | 検察官及び弁護士である付添人が関与した審理 | 13 |
| 6 | 被害者等の傍聴 | 14 |
| 第2編 | 通訳に当たっての注意事項 | 15 |
| 第1 | 一般的注意事項 | 15 |
| 第2 | 具体的注意事項 | 17 |
| 1 | 観護措置決定手続段階 | 17 |
| 2 | 調査段階 | 17 |
| 3 | 審判段階 | 18 |
| 第3編 | 定型文言の対訳 | 20 |
| 第1 | 観護措置決定手続 | 20 |
| 1 | 家庭裁判所調査官による面接 | 20 |
| 2 | 前置き | 20 |
| 3 | 少年の氏名などの確認 | 22 |
| 4 | 黙秘権の告知 | 22 |
| 5 | 付添人選任権の告知 | 22 |
| 6 | 非行事実の告知 | 22 |
| 7 | 少年の弁解の聴取 | 24 |
| 8 | 観護措置をとらない場合 | 24 |
| 9 | 観護措置をとる場合（決定の告知等） | 24 |
| 10 | 少年鑑別所収容の通知の説明 | 24 |
| 11 | ウィーン条約の説明 | 24 |

| | | |
|----|-----------------------------------|----|
| 第2 | 調査手続 | 26 |
| 1 | 前置き | 26 |
| 2 | 少年の氏名などの確認 | 26 |
| 3 | 手続の説明 | 26 |
| 4 | 審判の説明 | 28 |
| 5 | 処分の説明 | 28 |
| 第3 | 審判手続 | 30 |
| 1 | 審判開始の宣言 | 30 |
| 2 | 少年の氏名などの確認 | 30 |
| 3 | 黙秘権の告知 | 30 |
| 4 | 被害者等の傍聴がある場合の説明 | 32 |
| 5 | 非行事実の告知 | 32 |
| 6 | 少年の弁解の聴取 | 32 |
| 7 | 証人尋問手続 | 32 |
| 8 | 聴取の終了 | 34 |
| 9 | 調査官の意見陳述 | 34 |
| 10 | 付添人の意見陳述 | 34 |
| 11 | 決定などの告知及びその説明 | 34 |
| 12 | 抗告権の告知（保護処分に付された場合） | 34 |
| 13 | ウィーン条約の説明 （少年院送致や少年院への戻し収容の場合） | 34 |
| 第4 | 非行事実の告知 | 36 |
| 1 | 窃盗罪（万引）の例 | 36 |
| 2 | 窃盗罪（バイク盗）の例 | 36 |
| 3 | 遺失物等横領罪の例 | 36 |
| 4 | 傷害罪の例 | 36 |

| | | |
|----|-----------------------------------|----|
| 5 | 強盗罪の例 | 38 |
| 6 | 殺人罪の例（その1） | 38 |
| 7 | 殺人罪の例（その2） | 38 |
| 8 | 覚せい剤取締法違反の例 | 38 |
| 9 | 毒物及び劇物取締法違反の例 | 40 |
| 10 | 過失運転致傷罪の例 | 40 |
| 11 | 道路交通法違反（無免許運転）の例 | 40 |
| 12 | 道路交通法違反（速度違反）の例 | 40 |
| 13 | 売春防止法違反の例 | 40 |
| 14 | 出入国管理及び難民認定法違反の例 | 42 |
| 15 | ぐ犯の例 | 42 |
| 第5 | 決定などの告知及びその説明 | 42 |
| 1 | 保護観察決定などの告知及びその説明 | 42 |
| | (1) 保護観察決定の告知及びその説明 | 42 |
| | (2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明 | 44 |
| 2 | 児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知 及びその説明 | 44 |
| 3 | 少年院送致決定などの告知及びその説明 | 44 |
| | (1) 少年院送致決定の告知及びその説明 | 44 |
| | (2) 処遇勧告の告知及びその説明 | 44 |
| | ア 短期間の処遇勧告の説明 | 44 |
| | イ 特別短期間の処遇勧告の説明 | 44 |
| 4 | 不処分決定の告知 | 44 |
| 5 | 知事又は児童相談所長への送致決定の告知 | 46 |
| 6 | 検察官送致決定の告知 | 46 |
| 7 | 強制的措置許可決定の告知 | 46 |

| | | |
|------|--------------------|----|
| 8 | 強制的措置不許可決定の告知 | 46 |
| 9 | 試験観察決定などの告知及びその説明 | 46 |
| 10 | 没取決定の告知 | 46 |
| 11 | 訴訟費用負担決定の告知 | 46 |
| 12 | 戻し収容決定の告知 | 48 |
| 13 | 収容継続決定の告知 | 48 |
| 14 | 保護処分 of 取消決定の告知 | 48 |
| 15 | 施設送致決定の告知 | 48 |
| 第6 | 書式例 | 50 |
| 書式1 | 少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用） | 50 |
| 書式2 | 少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用） | 52 |
| 書式3 | 審判期日通知書 | 54 |
| 書式4 | 呼出状 | 56 |
| 書式5 | 呼出状（調査） | 58 |
| 書式6 | 同行状（緊急） | 60 |
| 書式7 | 観護措置通知書 | 62 |
| 書式8 | 付添人選任届 | 64 |
| 書式9 | 付添人選任に関する通知及び照会 | 66 |
| 書式10 | 付添人選任に関する回答書 | 68 |
| 書式11 | 決定通知書（審判不開始決定） | 70 |
| 書式12 | 証人召喚状 | 72 |
| 書式13 | 証人等整理票 | 74 |
| 書式14 | 宣誓書 | 76 |
| 書式15 | 通報の要請に関する照会 | 78 |
| 第4編 | 用語の対訳 | 80 |
| 第1 | 法律関係用語 | 80 |

| | | |
|----|--------------|-----|
| 第2 | 調査関係用語 | 94 |
| 第3 | 官庁等諸機関名 | 97 |
| 第4 | 法令名 | 101 |
| 第5 | 罪名 | 106 |
| | 少年保護事件の手続の流れ | 110 |

第1編 少年審判の概要

第1 少年審判の意義と基本原理

1 少年審判の意義

一般に、少年は人格が未熟である半面、教育などにより改善される可能性が高いので、非行のある少年に対しては、責任を追及して刑罰による非難を加えるのではなく、非行の背景を探り、少年に保護、教育を行うことが、少年の健全な育成に役立つと考えられます。そこで、少年法（以下「法」といいます。）1条に掲げられている「少年の健全な育成」を図るため、非行のある少年の事件は、全て家庭裁判所に送らせ（これを「全件送致主義」といいます。）、家庭裁判所で少年の個別的な問題性を調査した上、個々の少年に応じた教育的な措置を行うこととされています。家庭裁判所における少年事件の審理は、刑事訴訟手続のように公開の法廷で検察官と被告人及び弁護人双方の主張につき裁判官が第三者的立場から判断をするのではなく、非公開の審判廷で、裁判官が、職権により、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人などの関係者の意見を聴いた上、少年の後見的役割も果たしつつ、少年の将来を考えて処分を決める構造となっています。一定の場合には、検察官も審判に出席しますが、この場合の検察官も家庭裁判所の審判の協力者として出席します。このように、少年の健全な育成を図る目的の下に家庭裁判所が行う、少年事件の受理から最終的な決定に至るまでの一連の手続を、少年審判といいます。

2 少年審判の基本原則

(1) 教育主義（保護主義）

少年審判は、非行のある少年について、できるだけ処罰でなく、教育的な手段によって非行性を矯正し、更生を図ることを目的としており、刑罰は、このような教育的な手段によって矯正することができないか、それが不適當な場合に限り科せられることになっています。これは、少年は、精神的に未熟、不

安定で、環境の影響を受けやすく、非行に至った場合にも必ずしも犯罪性が進んでいない者が多いので、これを成人と同視して、その責任を追及することは適当でないという考えと、少年は、たとえ罪を犯した場合にも人格の発達途上にあるものとして、成人に比べなお豊かな教育的可能性（可塑性）を有しており、指導や教育によって更生させることが期待できるにもかかわらず、教育によらずに刑罰という制裁を科すことは、本人の将来のためにならないばかりでなく、社会にとっても決して得策ではないという考えに基づいています。

このような考え方を教育主義といいます。教育主義は、全ての少年事件を家庭裁判所に送らせ（全件送致主義）、家庭裁判所において、必要な調査を行った上で少年の処分を決める仕組みになっていることにも表れています。

(2) 個別処遇の原理（処遇の個別化）

少年の非行の原因は様々であり、性格、環境などの問題点も多岐にわたりますから、これに対処して少年の非行性を取り除き、その更生を図るには、少年の個別的な問題性に応じた処遇を行うことが必要になります。このため、家庭裁判所においては、心理学、教育学、社会学などの行動科学の知見を活用した専門的な調査について訓練を受けている家庭裁判所調査官が、非行が起こったメカニズムを分析し、再非行を防ぐための手立てを検討するために、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などについて調べます（社会調査）。さらに、必要な少年に対しては、少年鑑別所において鑑別が行われることもあります。

また、個別的な処遇方法としては、保護処分として、保護観察、児童自立支援施設又は児童養護施設送致、少年院送致があり、保護観察と少年院送致については、運用上様々な処遇が用意されているほか、試験観察などの中間的な措置や家庭裁判所調査官による教育的な働き掛け（保護的措置）などがあります。刑事裁判の場合と異なり、少年の個別的な問題性に応じた処遇を選択することができるようになっています。

(3) 職権主義

刑事裁判では、被告人と検察官の対立する当事者がお互いに攻撃や防御を行い、裁判所が第三者的立場から判断を下すという当事者主義的な構造がとられています。少年審判では、これと異なり、家庭裁判所が、少年の健全な育成を図るため、自ら少年に関する広範な調査を行い、審問を行う職権主義的な構造がとられています。

少年審判に関与する者は、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人、検察官、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員、学校の教師など多数にわたりますが、いずれも少年の健全な育成という目的の下に協力的な立場に関与するものとされています。

第2 少年審判手続の流れ

1 事件の受理

(1) 対象事件

ア 少年保護事件

これは、家庭裁判所に送られてきた少年を保護処分に付すかどうかを判断する事件で、家庭裁判所が取り扱う少年に関する事件の中の主なものです。その対象となる少年は、次の3種類があります。

(ア) 犯罪少年

1 4歳以上20歳未満の罪を犯した少年（法3条1項1号）

(イ) 触法少年

刑罰の定めのある法令に触れる行為をしたが、行為の時14歳未満であったため、刑法上罪を犯したことにならない少年（法3条1項2号）

(ウ) ぐ犯少年

20歳未満で、保護者の正当な監督に服しないとか、正当な理由がないのに家庭に寄り付かないとか、あるいはいかかわしい場所に出入りするといった一定の行状があり、その性格や環境から見て将来罪を犯す又

は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年（法3条1項3号）

イ 強制的措置許可申請事件

これは、児童相談所等で取り扱っている児童について、適切な保護を行うため、児童の行動の自由を制限し、又はその自由を奪うような強制的な措置を必要とするときに、児童相談所等がそのような措置をとることの許可を求めて家庭裁判所にその児童を送致する事件です（法6条の7第2項）。

ウ 準少年保護事件

保護処分取消事件（法27条の2）、収容継続申請事件（少年院法138条、139条）、戻し収容申請事件（更生保護法71条、72条）及び施設送致申請事件（更生保護法67条2項、法26条の4）を準少年保護事件といい、これらの事件の手続は、性質に反しない限り少年保護事件のそれと同様です（法27条の2第6項、少年院法138条5項、139条3項、法26条の4第3項）。

(2) 事件受理の態様

家庭裁判所が少年保護事件を受理する方法としては、警察(司法警察員)からの送致(法41条)、検察官からの送致(法42条)のほか、知事又は児童相談所長からの送致(児童福祉法27条1項4号、法3条2項)。家庭裁判所調査官からの報告(法7条1項)、一般人からの通告(法6条1項)があります。また、強制的措置許可申請事件は、知事又は児童相談所長から送致されます(法6条の7第2項、児童福祉法27条の3)。

刑事事件における裁判所への事件の係属は、原則として検察官による公訴の提起に限られています(刑事訴訟法247条)が、少年事件の場合には、一般人を含めて、少年の健全な育成に関心を持つ者からの通告などによっても、事件を家庭裁判所に係属させる制度をとっているのが特徴です。

2 観護措置

(1) 意義

観護措置とは、家庭裁判所が調査や審判をするために、少年の心情の安定を図りながら、少年の身柄を確保しておく措置をいいます。これには、少年を家庭などに置いたまま、家庭裁判所調査官が随時連絡を取って少年を観護するもの（法17条1項1号）と、少年を少年鑑別所に収容するもの（法17条1項2号）の2種類がありますが、前者はほとんど利用されておらず、通常、観護措置というときは後者を指します。

後者の観護措置では、少年を少年鑑別所に収容することによりその身柄を確保するとともに、少年の行動を観察しながら鑑別を行います。そして、鑑別の結果は家庭裁判所に報告され、調査や審判の資料とされます。以下では、後者の観護措置を前提として、説明します。

(2) 手続

ア 通訳人の氏名などの確認及び宣誓

家庭裁判所調査官による面接（後記イ）や裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前提として、まず、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、調査や審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

イ 家庭裁判所調査官による面接

裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前に、家庭裁判所調査官が短時間少年に面接し、観護措置の要否について家庭裁判所調査官の立場からの意見を裁判官に提出する場合があります。家庭裁判所調査官による面接では、少年の氏名や生年月日、国籍、非行事実などの確認が行われるほか、少年審判手続についての一般的な説明も行われます。

ウ 裁判官による観護措置決定手続

(ア) 少年の氏名などの確認

裁判官は、直接少年に会った上で、少年に対し、少年の氏名、生年月

日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

(イ) 黙秘権及び付添人選任権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権及び付添人選任権を告げます。少年は裁判官の質問に対し、無理に答える必要はありません。また、少年事件において家庭裁判所の審判の協力者としての役割とともに、刑事事件の弁護人のような役割を果たす人を付添人といいますが、少年に付添人を選任できる権利（法10条）があることも分かりやすく説明します。

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の弁解を聴きます。

(エ) 決定の告知

裁判官は、少年に対し、観護措置をとる場合にはその旨の決定を告げ、観護措置をとらない場合にはその旨を告げます。

(オ) ウィーン条約の説明

裁判官が外国籍の少年について観護措置をとる旨の決定をした場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限りです。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

(3) 期間など

少年を少年鑑別所に収容することができる期間は、原則として2週間ですが、特に継続の必要があるときは、更新することができます（法17条3項）。更新は原則として1回を超えて行うことはできませんが、例外的に、更に2回を

限度として行うことができます（法17条4項）。したがって、少年を少年鑑別所に収容しておくことのできる期間は、最長8週間ということになります。

通常は、少年鑑別所において行う少年の行動観察や鑑別のために相当の期間を要するため、4週間近く収容されることが多いのが実情です。また、観護措置は、その必要がなくなったときは、いつでも取り消すことができます（法17条8項）。

3 調査

(1) 裁判官による法的調査

家庭裁判所が事件を受理すると、裁判官は、まず捜査機関から送られてきた記録を検討して、少年に本当に非行があるのかどうかを調査します（法的調査）が、記録を検討した結果、少年に非行があるとの蓋然的心証を得た場合には、家庭裁判所調査官に対し、少年の要保護性についての調査（社会調査）を命じます。しかし、少年が捜査段階で非行事実を否認している場合や、証拠関係に不明な点があって、非行事実の認定に問題があると裁判官が考えた場合には、家庭裁判所調査官に調査を命じる前に、審判を開き、その点について直接少年の弁解を聴き、証人などを調べる場合もあります。

(2) 家庭裁判所調査官による社会調査

家庭裁判所調査官は、裁判官から調査を命じられると、行動科学等の専門的知識を活用して、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などを調べ（社会調査）、非行の背景やメカニズムを分析するという役割を担っています。社会調査は、少年が非行を繰り返す傾向の強さ、その傾向を取り除くことのできる可能性、そして保護処分という手段で矯正することのできる可能性といった要素（要保護性といいます。）を検討するために行われます。。社会調査は、家庭裁判所調査官が主に少年や保護者などと面接して行われ、少年鑑別所に収容されている少年に対しては、少年鑑別所に出向いて行われます。少年との面接の際には、家庭裁判所調査官が、少年の氏名、生年月日、国籍や

非行事実などを確認するほか、少年の生育歴、入国の経緯、日本での生活状況、非行の経緯や背景などを聴きますが、一般的な手続の説明なども行います。

また、家庭裁判所調査官が少年の家に出向いて家庭などの状況を見てくるとや学校などに照会することもあります。調査に当たっては、少年の情操や名誉を傷つけないように、また、関係者の秘密が守られるように、十分な注意が払われています。

家庭裁判所調査官は、調査結果と少年が立ち直るために必要な処遇に関する意見を少年調査票という書面にまとめ、裁判官に報告します。

4 審判

(1) 審判の開始

裁判官は、家庭裁判所調査官の調査結果などを検討した上で、審判を開く必要があるかどうかを決めます。少年が事実を認めており、かつ、事案が軽微であり、調査の過程における家庭裁判所調査官からの教育的な働き掛けなどにより十分な手当てがされているなどの理由から、審判を開いて指導を行う必要がないと判断した場合には、審判不開始決定をして裁判官が少年に直接働き掛けを行うことなく手続を終了させます。少年が事実を否認している場合や保護処分（保護観察、少年院送致等）などの手当てをする必要があると判断した場合には、審判開始決定をして審判を開きます。

なお、少年が逮捕、勾留などにより身柄が拘束されたまま家庭裁判所に送致されて観護措置がとられたような場合には、調査命令を発する際に併せて審判開始決定をするのが一般です。

(2) 審判の場所、関与者など

審判は、原則として家庭裁判所の審判廷で行われ、非公開の場で、懇切を旨として、和やかに行うとともに、少年に対し、自己の非行について内省を促すものとされ（法22条1項）、少年の情操の保護が図られています。

審判には、裁判官、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、少年及び少年の保護

者が出席し、場合によっては、付添人、検察官、学校の教師、雇い主、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員などが出席することもあります。また、一定の重大な事件では、被害者等が審判を傍聴することもあります。

なお、裁判官については、1人の場合と3人の場合があります。重大事件などについては3人の合議体で審判が行われ、そのうちの1人が裁判長として手続を進めます。以下では裁判官が1人の場合について記述しますが、3人の合議体で審判が行われた場合にも、基本的に同じです。

(3) 手続

ア 審判開始の宣言

審判を開始するに当たっては、まず、裁判官が審判の開始を宣言します。

イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓

通訳人の氏名などの確認や宣誓が審判の前に行われていないときには、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。

通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

ウ 少年の氏名などの確認

裁判官は、少年に対し、少年の氏名、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

エ 黙秘権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権を告げます。

オ 非行事実の審理

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の言い分を聴き、その上で捜査機関から送られてきた少年に不利な証拠の内容を告げて、これについて言い分を述べる機会を与えます。必要な場合には、証人尋問などの証拠調べも行われます。審判の進め方や証拠調べの範囲、方法などについては、裁

判官の裁量に委ねられていますが、この裁量も無制限ではなく、合理的なものでなければならないとされています。また、保護処分の決定を行うには、非行事実の存在について、間違いがないとの確信（合理的な疑いを超える確信）が必要とされています。

カ 要保護性の審理

裁判官は、非行事実の審理の結果、非行事実の存在について確信した場合には、続いて、少年の要保護性についての審理を行います。裁判官は、主として家庭裁判所調査官の作成した少年調査票や少年鑑別所の鑑別結果報告書の内容を踏まえて、少年や保護者に対し、非行の動機・原因のほか、少年自身の生い立ち、少年の家族関係、学校、職場などの環境などについて、そのポイントとなる点を確認し、あるいは自発的な発言を促してその言い分を十分に聴きます。また、その他の関係者から必要に応じて意見を述べてもらうこともあります。

キ 決定の告知

裁判官は、調査や審判の結果に基づいて、少年の非行事実及び要保護性を総合的に検討し、個々の少年の健全な育成のために最もふさわしい処分を決定し、少年にそれを告げます。

裁判官が審判で行う処分としては、次のようなものがあります。

(ア) 保護処分

a 保護観察

少年を家庭や職場に置いたまま、保護観察官や保護司が少年に対して指導監督と補導援護を行い、少年の改善更生を図るものです（法24条1項1号）。

b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致

児童自立支援施設や児童養護施設という児童福祉施設に少年を送って教育や養護を行うものです（法24条1項2号）。

c 少年院送致

少年を少年院という特別の矯正教育施設に収容して、少年が健全なものの考え方や規則正しい生活習慣を身に付けることができるように指導するものです（法24条1項3号）。少年院には、第1種から第4種までの4種類がありますが、家庭裁判所が少年を送致するのはこのうち第1種から第3種までの少年院です。少年を送致する少年院の種類は、決定において定められます。また、家庭裁判所は、第1種少年院に少年を送致する場合には、短期間（6か月）又は特別短期間（4か月）で処遇を終えることが適当である旨の処遇勧告を付すことができ、その場合には、少年院長は家庭裁判所の処遇勧告をそのまま受け入れる運用が行われています。

(イ) 不処分

審判の結果、非行事実が認められない場合や、非行事実が認められても、特に保護処分に付すまでの必要はないと認められた場合に行われるもので、少年を保護処分に付さないことを宣言するものです（法23条2項）。

(ウ) 知事又は児童相談所長送致

少年を児童福祉施設に入所させたり、少年に児童福祉司や児童委員による指導を受けさせたりするなど、児童相談所の措置に委ねることが適当であると認められた場合に行われるものです（法23条1項、18条1項）。

(エ) 検察官送致

死刑、懲役又は禁錮に当たる罪の事件について、調査をした上、その事件の重大性や犯情、さらには、少年の犯罪的危険性、非行歴などから判断して、刑罰を科すのが相当と認められるときに、事件を検察官に送致するものです。また、殺人や傷害致死など故意の犯罪行為によって被

害者を死亡させた罪の事件であって、犯行時に16歳以上の少年に係るものについては、原則として事件を検察官に送致することとされています（法23条1項、20条）。

送致を受けた検察官は、犯罪の嫌疑がある限り、原則として、刑事裁判所に公訴を提起（起訴）しなければならないとされています（法45条5号）。

なお、このほかに、本人が20歳以上であることが判明したときにも、事件を検察官に送致する決定が行われます（法23条3項、19条2項）。

観護措置がとられている事件について、検察官送致の決定をするときは、あらかじめ、本人に対し、罪となるべき事実や弁護人を選任することができる旨などが告げられます。さらに、死刑又は無期若しくは長期3年を超える懲役若しくは禁錮に当たる事件については、本人に対し、貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨などが告げられます（少年審判規則24条の2）。

(オ) 試験観察

試験観察とは、家庭裁判所が直ちに保護処分を選択するかどうかの最終決定を行いにくい場合に、(ア)から(エ)までのような最終的な決定を留保したまま、少年の非行性や更生可能性を見定めるために、相当の期間、少年を家庭裁判所調査官の観察に付すという中間的な決定です。その際には、併せて、遵守事項を定めてその履行を命じたり、適当な施設や個人などに少年の補導を委託したり（これを「補導委託」といいます。）するなどして、少年の行動を観察することもあります（法25条）。

(カ) 没取

没取とは、犯罪少年や触法少年について、審判不開始決定や（ア）から（ウ）までの決定等をするに当たり、犯罪に利用した凶器など一定の物の所有権を少年から剥奪し、国庫に帰属させるために行われる処分です（法24条の2）。

（キ） 訴訟費用の負担

家庭裁判所へ送致される前に少年に国選弁護人が付された事件について、不処分又は保護処分の決定がされた場合には、家庭裁判所は、少年に対し、その国選弁護費用（訴訟費用）を負担させることができます（法45条の3、刑事訴訟法181条1項）。

ク 保護処分の趣旨の説明

裁判官は、保護処分の決定を告げる場合には、少年及び保護者に対し、保護処分の趣旨を懇切に説明し、これを十分に理解させます（少年審判規則35条1項）。

ケ 抗告権の告知

裁判官は、保護処分の決定を告げた場合には、少年及び保護者に対し、決定に不服があるときは2週間以内に抗告申立書を裁判所に差し出して抗告をすることができる旨を告げます（少年審判規則35条2項）。

コ ウィーン条約の説明

裁判官が少年院送致や少年院への戻し収容の決定を告げた場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の本国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限りです。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

5 検察官及び弁護士である付添人が関与した審理

検察官は、原則として少年審判に関与しませんが、家庭裁判所は一定の罪の事

件で、その事実認定手続に検察官が関与する必要があると認めるときは、審判に検察官を出席させることができます（法 22 条の 2）。この場合に、家庭裁判所は、少年に弁護士である付添人がないときは、弁護士である付添人を付すこととされています（法 22 条の 3 第 1 項）。

また、検察官が関与しない場合でも観護措置がとられている一定の罪の事件に係る犯罪少年や触法少年の審判において、事案の内容、保護者の有無その他の事情を考慮し、必要があると認めるときは、弁護士である付添人を付することができることとされています（法 22 条の 3 第 2 項）。

このようにして検察官や弁護士である付添人が出席した審判においては、検察官や付添人から証拠調べの申出がされたり、少年や証人などに対して質問がされたりします。ただし、刑事裁判と異なり、検察官や付添人は家庭裁判所の審判の協力者として関与します。

6 被害者等の傍聴

少年審判は原則として非公開ですが、犯罪少年又は触法少年が起こした一定の重大な事件の被害者等は、裁判所の許可を受けて少年審判を傍聴することができます。被害者等から傍聴の申出があった場合には、裁判所は、少年の年齢及び心身の状態、事件の性質、審判の状況その他の事情を考慮し、少年の健全な育成を妨げるおそれがなく相当と認めるときに限り、傍聴を許すことができます（法 22 条の 4）。

第2編 通訳に当たっての注意事項

第1編で少年審判の概要をおおむね御理解いただけたことと思います。通訳人の皆さんは、この少年審判の中で、言葉の通じない外国人の少年や保護者などと少年審判に関与する他の人とのいわばパイプ役を果たしていただくこととなります。少年審判においては、まず、少年に調査や審判などで何が行われているかを十分に理解させる必要があります。そして、裁判官や家庭裁判所調査官と少年などとの意思の疎通を十分に行いながら審理を進めていかなければなりません。そのためには正確な通訳が必要です。

本編では、通訳人の皆さんに心得ておいていただきたい注意事項をまとめてみました。

第1 一般的注意事項

1 良心に従って誠実に通訳を行ってください。

通訳人の皆さんには、通訳をするに当たってその旨の宣誓をしていただきます。これは、法律に基づくもので、適正な調査や審判などを実現するためのものです。

なお、故意に偽りの通訳を行いますと、処罰されることがあります。

2 公正を保ってください。

少年審判は、偏りのない、公正な手続で行われなければなりません。通訳人も、通訳をするに当たっては、立場上公正さを疑われるような行動をとってはならないので、少年や保護者などと交友関係があるなど特別の関係にある場合には、直ちに申し出てください。警察や検察庁での当該少年に対する取調べに通訳人として立ち会ったことがある場合には、必ず裁判所にその旨を伝えてください。また、少年や保護者などに対して名刺を渡したり、電話番号を教えたりするなど、少年やその関係者から接触してくる機会を与えないようにしてください。

もちろん、一緒に飲食したり、贈り物を受け取ったりするなどの行為は、絶対に行わないでください。

3 職務上知り得た秘密を漏らさないでください。

少年事件の調査や審判は、少年の社会復帰を助けるため、非公開で行われ、その内容は、外部には知らされません。特に、少年の非行の内容が外部に知れると、少年が就職する妨げになったり、学校を退学になったりすることがあり、その更生に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

通訳人の方は、調査や審判などの過程で、事件の内容に関する様々なことを知ります。特に、調査や審判においては、その性質上、少年の生育環境や心身の状況など、少年のプライバシーに関することを知ることも多くあります。これらの内容は絶対に他に漏らさないでください。少年審判は、秘密性を重視して行われるものですから、秘密の保護には特に注意してください。家庭裁判所調査官による調査に際しては、少年と保護者の間でも秘密にされている事項についての話もよくありますので、これらについては、外部だけではなく、少年や保護者に対しても、絶対に漏らさないでください。

4 少年から調査や審判以外の場で質問されたり、話しかけられたりした場合にも、少年との会話の内容については十分に注意してください。

少年は、慣れない土地で身体の自由の拘束を受けるなどしていますので、自分の話す言葉を理解してくれる通訳人に様々な相談をすることもあるかと思われまます。しかし、通訳人の個人的な経験などから、審判の見通しや今後の手続などを話したりすると、これによって少年が誤った期待等を抱いてしまうおそれが多分にあります。通訳人は、少年の助言者ではありません。少年の保護者、友人などから問合せや相談があった場合も同様です。

5 裁判所では、通訳人の皆さんに、正確な通訳をしていただくために、少年の非行事実を記載した書類をお渡しすることがありますが、この書類は、審判が終了したらすぐに担当の裁判所書記官に返却してください。また、分からないことが

あれば、担当の裁判所書記官にお尋ねください。

第2 具体的注意事項

1 観護措置決定手続段階

観護措置決定手続は、少年を少年鑑別所に収容するか否かを定める重要な手続ですから、裁判官や少年が話したことを忠実に通訳してください。観護措置決定手続段階における注意事項は、基本的に審判段階におけるものと同様ですから、後記3を参考にしてください。

2 調査段階

- (1) 家庭裁判所調査官、少年及び保護者が話したことを忠実に通訳してください。

家庭裁判所調査官は、行動科学の専門的知識を背景に、少年との面接の中で、様々な角度から少年に質問、あるいは心理テストなどを行い、少年の要保護性を調査します。家庭裁判所調査官の質問に対する少年の返答内容や態度などは、全て少年の人格を理解するために重要な要素となり、また、家庭裁判所調査官は、少年の反応や性格などにより、質問方法を変化させていきます。したがって、家庭裁判所調査官の質問を正確に通訳し、少年や保護者の言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳したりすることは極力避けてください。また、少年や保護者が質問に対する答え以外にも話をしている場合や質問をしていないのに話を始めた場合にも、その発言を禁止せずに通訳してください。

- (2) 通訳するときに、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたりしないでください。

通訳は、発言をできるだけ忠実に通訳することが原則です。通訳人が評価を交えるなどすると、発言の本当の内容が相手に伝わらず、誤解を生じることになります。もし家庭裁判所調査官が少年や保護者の発言の意味を理解できない場合には問い直しますので、通訳人がコメントを付け加えることは遠慮してください。

なお、少年を理解する上で必要と思われるもので、少年の母国の文化などについて、どうしても少年が説明しきれず、通訳人が裁判所に伝えておくことが望ましいと思われるものがある場合には、その旨を申し出た上、家庭裁判所調査官の指示に従ってください。

- (3) 家庭裁判所調査官の質問に分からない言葉があるなど疑問があった場合には、遠慮なく家庭裁判所調査官に尋ねてください。

通訳人を付けた事件の場合、家庭裁判所調査官はできるだけ簡潔に質問をするなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問やいくつもの質問が一度にされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を家庭裁判所調査官に申し出てください。また、専門用語などで意味の分からない言葉があった場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なく申し出てください。質問の意味をよく理解しないまま通訳を行ったのでは、調査の目的は達せられません。

- (4) 少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年などに追加説明しないでください。

質問する側としては、答える側がどれだけ質問を理解したかを把握することも大切です。少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、そのまま答えを通訳した上で、よく理解できていない旨を家庭裁判所調査官に告げてください。家庭裁判所調査官は、質問を変えるなどの工夫を行います。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま調査を進めると、思わぬ誤解を生じるおそれがあります。

- (5) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、家庭裁判所調査官の方を向いたりして、合図をしてください。

3 審判段階

- (1) 裁判官、少年、証人その他の関係者が話したことを忠実に通訳してください。

審判では、裁判官が同じ点について様々な角度から何度も尋ねることがあり

ます。これに対し、少年が同じようなことを繰り返しているように見える場合もあります。このような場合でも、それぞれの質問のニュアンスなどに注意して、言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳することは極力避けてください。また、通訳するときには、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたり、裁判官の指示によらないで少年らの発言を禁止したりしないでください。

- (2) 裁判官等の質問に意味の分からない言葉があるなど通訳がやりにくいと感じたときは、遠慮なくその旨を裁判官に申し出てください。

通訳人を付けた事件の場合、裁判官等はできるだけ簡潔にわかりやすく質問するなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問がされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を裁判官に申し出てください。また、質問の途中で難しい言葉が出てきた場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なくその旨を申し出てください。質問の意味などをよく理解しないまま通訳を行ったのでは、審判の目的は達せられません。

- (3) 少年や証人が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年らに説明することなく、そのまま答えを通訳した上で、十分に理解できていない旨を裁判官に告げてください。裁判官は質問の仕方を変えたりして工夫します。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま手続を進めると、思わぬ誤解を生じたりします。

- (4) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、裁判官の方を向いたりして、合図をしてください。

第3編 定型文言の対訳

〔一般的には、ここに記載されたような方式で行われますが、必ずしもここに書かれているとおりの内容が述べられるとは限りませんし、ほかの内容が述べられることもあります。なお、本編では、裁判官が1人で、検察官が関与しない審理について記載していますが、裁判官が3人である場合や検察官が関与する場合についても、以下に記載した手続の流れは基本的に同じです。〕

第1 観護措置決定手続

1 家庭裁判所調査官による面接を行う場合

〔ここに記載されているほかは、第2の2以下の内容を参考にしてください。〕

私は、家庭裁判所調査官の〇〇です。

最初に、私が、今回の非行や現在の生活状況などについて聴き、その後に裁判官の面接があります。

裁判官の面接では、もう一度、君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などが聴かれます。

裁判官の面接では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

事実と違う点や納得のできない点があれば、その機会に述べてください。

裁判官は、今回の非行の内容、君のこれまでの生活状況などを考慮して、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に収容する必要があるかどうかを判断します。

2 前置き

私は、裁判官の〇〇です。

君について〇〇事件が送られてきました。

今後、君に本当に非行があるかどうかを確かめた上で、最終的な処分を決めて

अध्याय १ रोकथाम प्रक्रियाको प्रबन्ध गर्ने तरिकाहरु

१ पारिवारिक अदालत परीक्षकद्वारा अन्तर्वार्ता गर्ने अवस्थामा

[यहाँ उल्लेख गरिएबाहेक अध्याय २ को २ देखिको भाग साभार गर्नुहोला ।]

म पारिवारिक अदालत परीक्षक ○○ हुँ ।

सबभन्दा पहिले म यसपटकको अपराध र अहिलेको जनजीवनबारे सोधपूछ गर्छु । त्यसपछि न्यायाधीशद्वारा अन्तर्वार्ता हुन्छ ।

न्यायाधीशसंगको अन्तर्वार्तामा फेरि एकपटक तिम्रो नाम, जन्ममिति, पेशा, राष्ट्रियता तथा जापानको बसोबासको बारेमा सोधिनेछ ।

न्यायाधीशसंगको अन्तर्वार्तामा तिम्रीले गरेको अपराधको बर्णन गरिनेछ र तिम्रीलाई सफाइको मौका दिइने छ ।

वास्तविकतासंग मेल नखाने कुरा तथा चित्त नबुझ्ने कुराहरु भएमा त्यतिबेला भन्नुहोला ।

न्यायाधीशले यसपटकको तिम्रो अपराध विवरण, तिम्रो अहिलेसम्मको दैनिक जीवनलाई मनन गरी तिम्रो मनोवैज्ञानिक तथा विभिन्न समस्याहरु छानबिन गर्नको लागि तिम्रीलाई तरुण गृहमा राख्ने कि नराख्ने भन्ने कुराको निर्णय गर्नेछौं ।

२ प्रस्तावना

म न्यायाधीश ○○ हुँ ।

तिम्रो बारेमा ○○ घटना विवरण पठाइएको छ ।

いくこととなりますが、今日は、その前提として、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に送致する必要があるかどうかを決めます。

これからの手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の言っている意味が分からないときは、何でも遠慮なく聞いてください。

3 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

4 黙秘権の告知

これからいくつか質問しますが、君は無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

しかし、言いたいことがあれば、遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

5 付添人選任権の告知

君や君のお父さん、お母さんなどの保護者は、今回の審判のために、付添人を頼むことができます。

付添人とは、裁判所の審判に協力しながら、君の権利を守ったり、相談に乗ってくれたりする人です。

弁護士以外の人を付添人に頼む場合は、家庭裁判所の許可が必要です。

6 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。

よく聞いておいてください。

अबदेखि तिमीले साँचै अपराध गरेको हो कि होइन भन्ने कुराको छानबिन गरी अन्तिममा कस्तो फैसला गर्ने भन्ने कुरा तोक्नेछौं । यहि कुरालाई मध्यनजर गरेर आज तिम्रो समस्याहरु छानबिन गर्नको लागि तिमीलाई तरुण गृहमा राख्ने कि नराख्ने भन्ने कुराको निर्णय गर्नेछौं ।

अबको प्रक्रियाको बारेमा भन्नुपर्दा, न्यायाधीशले छानेको दोभासेले उल्था गर्ने गर्दछ । दोभासेले इमान्दरपूर्वक उल्था गर्ने प्रतिज्ञा गरेको छ ।

मैले भनेको कुरा नबुझेको खण्डमा जे पनि सोध्नुहोला ।

३ युवाको नाम आदिको सोध्नुछ

तिम्रो नाम के हो ?

जन्म मिति कहिले हो ?

कहाँको नागरिक हो ?

जापानमा कहाँ बस्दैछौ ?

के काम गर्दैछौ ?

४ मौन रहने अधिकारको जानकारी

अब केहि प्रश्न गर्छु । जवाफ दिन मन नलागेको बेला जवाफ नदिए पनि हुन्छ । चुप लागेर बस्नाले नराम्रो हुने केहि पनि छैन ।

तर, भन्न मन लागेको कुरा बिना संकोच भन्नुहोला ।

तिमीले भनेका कुराहरु तिमीलाई फाइदाजनक भए पनि नभए पनि सबुतको रुपमा प्रयोग गर्ने सम्भावना पनि छ ।

५ सहायक छनोटको अधिकारप्रतिको सुझाव

तिमी अथवा तिम्रो बुवा, आमा आदि अभिभावक यसपटकको फैसलामा सहायकको रुपमा भाग लिन दिइने छ ।

सहायक अदालतको फैसलामा सहयोग गर्ने, तिम्रो अधिकारको रक्षा गर्ने, सल्लाह सुझाव दिने व्यक्ति हो ।

वकिल बाहेकको व्यक्ति सहायकको रुपमा अनुरोध गर्ने बेलामा पारिवारिक अदालतको अनुमति लिन आवश्यक हुन्छ ।

६ वास्तविक अपराधको वर्णन

अब अभियोक्ता (प्रहरी) बाट पठाइएको घटनाको विवरण पढ्दछु ।

राम्ररी सुन्नुहोला ।

[第4 (非行事実の告知) 参照]

7 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

8 観護措置をとらない場合

君を少年鑑別所に送致しないことにします。

今日は帰ってもらいます。

しかし、これで裁判所の手続が終わったわけではありません。

後日、調査や審判の呼出しがありますから、そのときは必ず裁判所に来てください。

9 観護措置をとる場合 (決定の告知等)

君を少年鑑別所に送致することにします。

少年鑑別所にいる期間は、通常、最長4週間です。なお、場合によっては、最長8週間まで更新されることがあります。

その間、少年鑑別所の技官や家庭裁判所調査官が君の性格、環境などに問題がないかどうか、あるとすれば何かといったことを知るため、心理テストや調査を行うこととなります。この調査等にはできる限り応じてください。

また、自分自身や生活面の問題点は何か、それをどのように直していくかについて、審判で裁判官に説明できるように考えを整理しておいてください。

10 少年鑑別所収容の通知の説明

君が少年鑑別所に収容されることは、君のお父さん、お母さんなどの保護者に通知します。

誰への通知を希望しますか。

その人の名前と住所及び君とその人との関係を教えてください。

11 ウィーン条約の説明

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

[अध्याय ४ (वास्तविक अपराधको वर्णन) साभार]

- ७ युवाको सफाइको सुनुवाई
अहिले पढिरहेको विवरणको बारेमा मेल नखाने कुरा तथा नबुझ्ने कुराहरु भएमा निशंकोच भन्नुहोला ।
- ८ रोकथाम प्रक्रिया लिने सन्दर्भमा
तिमीलाई तरुण गृहमा नपठाउने निर्णय गर्यो ।
आज फर्के पनि हुन्छ ।
तर, यतिले अदालतको प्रक्रिया समाप्त भएको अर्थ होइन ।
पछि, छानबिन या फैसलाको लागि बोलाएको अवस्थामा अवश्य पनि अदालतमा आउनुहोला ।
- ९ रोकथाम प्रक्रिया नलिने सन्दर्भमा (निर्णयको जानकारी आदि)
तिमीलाई तरुण गृहमा नपठाउने निर्णय गर्यो ।
तरुण गृहमा रहने अवधि साधारणतया लामोमा ४ हप्ता हुन्छ । तर, अवस्था हेरेर लामोमा ८ हप्तासम्म हुने सम्भावना पनि रहन्छ ।
त्यसबेला तरुण गृहको अफिसर या पारिवारिक अदालतको अनुसन्धान अधिकृतले तिम्रो बानीव्यहोरा र वातावरणबारे समस्या छ वा छैन, यदि छ भने त्यो के हो भन्ने कुरा थाहा पाउनको लागि मनोबैज्ञानिक परीक्षण या अनुसन्धान गरिन्छ । यस्ता अनुसन्धानहरुमा सकेसम्म सहभागी हुनुहोला ।
साथै आफू तथा आफ्नो दैनिक जीवनमा केहि समस्या भए त्यसलाई कसरी सुधार्दै लाने भन्ने बारेमा अदालतको फैसलाको बेला न्याधीशलाई बयान दिन सक्ने गरी विचार गरी जवाफको तयारी गर्नुहोला ।
- १० तरुण गृहमा बन्देज बनाइएको जानकारीको बयान
तिमीलाई तरुण गृहमा बन्देज बनाइएको कुरा तिम्रो बुवा, आमा लगाएतको अभिभावकलाई जानकारी गर्दछु ।
कसलाई जानकारी दिने इच्छा छ ?
त्यस व्यक्तिको नाम, ठेगाना तथा तिमिसंगको सम्बन्धबारे पनि जानकारी दिनुहोला ।
- ११ भियना सम्झौताको वर्णन
[दुई देशबीचको सम्झौताको आधारमा खबर गर्ने स्थिति बाहेक]

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、警察や検察官が通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

第2 調査手続

1 前置き

私は、君の担当の家庭裁判所調査官の〇〇です。

君について、〇〇事件が検察官（警察）から家庭裁判所に送られてきました。

今日は、この事件のことや君のこれまでの生活、家族のことなどについて話を聴きたいと思います。

今日は、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

3 手続の説明

家庭裁判所では、本当に君に非行があるかどうかを確認します。

君に非行がある場合は、どうしてそういうことをしてしまったか、今後繰り返さないためにはどうしたらよいかということを考え、どのような指導や教育が

यदि तिम्रो इच्छा भएमा कन्सुलर सम्बन्धी भियना सम्झौतामा आधारित भएर तिम्रो देशको जापानी राजदूताबासमा खबर गर्छु ।

तर, प्रहरी या अभियोक्ताले खबर नगरेको खण्डमा मात्र यो लागू हुन्छ ।

खबर गर्नुहुन्छ ?

साथै जापानको कानूनको उल्लङ्घन नभएमा तिम्रो देशको जापानी राजदूताबासलाई पत्र पनि पठाउन सकिन्छ ।

अध्याय २ अनुसन्धान मस्यौदा

१ प्रस्तावना

म तिम्रो सहयोगी पारिवारिक अदालत परीक्षक ○○हुँ ।

तिम्रो बारेमा भन्नुपर्दा, ○○घटनाको कारणले अभियोक्ता (प्रहरी) ले तिम्रीलाई पारिवारिक अदालतमा पठाएको हो ।

आज यस घटनाको बारे या तिम्रो अहिलेसम्मको जीवन र परिवारको बारेको कुराहरु सुन्न चाहन्छु ।

आज न्यायाधीशले छानेको दोभासेले उल्था गर्ने गर्दछ । दोभासेले इमान्दरपूर्वक उल्था गर्ने प्रतिज्ञा गरेको छ ।

मैले भनेको कुरा नबुझेको खण्डमा जे पनि सोध्नुहोला ।

२ युवाको नाम आदिको सोधपूछ

तिम्रो नाम के हो ?

जन्म मिति कहिले हो ?

कहाँको नागरिक हो ?

जापानमा कहाँ बस्दैछौ ?

के काम गर्दैछौ ?

३ कार्य विधिको वर्णन

पारिवारिक अदालतमा तिम्रीले अपराध गरेको छ कि छैन भन्ने कुरा छानबिन गरिन्छ ।

तिम्रीले अपराध गरेको खण्डमा किन त्यस्तो काम गरेको हो, भबिष्यमा यस्तो काम नदोहोराउन के गर्नुपर्छ भन्ने कुरा विचार गरी कस्तो किसिमको निर्देशन या शिक्षा आवश्यक

必要かを考慮して最も適当な処分を決めています。

今日は、今回の事件の原因を君と一緒に考えたいと思います。

君から聴いた内容は、裁判官に報告します。

裁判官は、その内容を踏まえた上で、君の処分を決めます。

4 審判の説明

審判は、裁判の一種です。

審判は、原則として非公開で行うことになっています（が、この事件については、裁判所が被害者等に審判を傍聴することを許可しましたので〔被害者等から傍聴の申出が出ていますので、これを裁判所が許可すれば〕、被害者等が審判を傍聴することができます。傍聴が許されるのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重するためであることをよく理解してください。）。

審判廷には、裁判官のほか、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、君、君の保護者、君の付添人などが出席します。

審判では、裁判官が君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを確認します。

審判では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

君も、審判までに、今回の非行の原因や今後の生活などをよく考えておいてください（また、被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。）。

そして、審判の時には、君の考えていることを率直に話すようにしてください。

また、事実と違う点や納得できない点があれば、その機会に述べてください。

5 処分の説明

家庭裁判所の行う処分には、施設に入って生活指導などを受けるものとして少年院送致、児童自立支援施設送致及び児童養護施設送致があります。

छ भन्ने कुरा राम्ररी सोचेर उपयुक्त सजाँयको निर्णय गर्नेछु ।

आज यसपालिको घटनाको कारण तिमिसंगै विचार गर्न चाहन्छु ।

तिमीबाट सुनेका कुराहरु न्यायाधीशलाई रिपोर्ट गर्नेछु ।

न्यायाधीशले त्यस विवरणलाई विश्लेषण गरी तिम्रो फैसला सुनाउनेछ ।

४ फैसलाको वर्णन

फैसला अदालती फैसलाको एक किसिम हो ।

फैसला गोप्य तरिकाले गर्ने नियम रहेको छ (तर, यो फैसलाको सन्दर्भमा अदालतले पीडित पक्षलाई फैसला सुन्ने अनुमति दिएको हुनाले [पीडित पक्षबाट फैसला सुन्ने अनुमतिको निवेदन आएको हुनाले अदालतले स्वीकृति दिएमा] , पीडित पक्षबाट फैसला सुन्न पाउनेछ । फैसला सुन्ने अनुमति दिनुको कारण, फैसलाको अवस्था सीधा आफूले हेरेर अनि सुनेर बिस्तृत रूपमा थाहा पाउन चाहने पीडित पक्षको मनको कुरा र अनुभूतिलाई सम्मान गर्नु हो भन्ने कुरा राम्ररी बुझिदिनु होला ।) ।

अदालतभित्र न्यायाधीश बाहेक पारिवारिक अदालत परीक्षक, अदालतको लेखक कारिन्दा, तिमी, तिम्रा अभिभावक, तिम्रो सहायक, आदि हाजिर हुन्छन् ।

फैसलाको बेलामा न्यायाधीशले तिम्रो नाम, जन्ममिति, पेशा, राष्ट्रियता, जापानको ठेगाना, आदि पक्का गर्नेछ ।

फैसलाको बेलामा तिमिले गरेको भनेको अपराधको बर्णन गरिनेछ र तिम्रीलाई सफाइको मौका दिइने छ ।

तिमी पनि फैसलाको दिनसम्ममा यसपालिको अपराधको कारण या आउँदा दिनको जीवनको बारेमा राम्ररी सोच्नु होला (फेरि, पीडित पक्षका मानिसहरु पनि फैसलाको बेला सुन्नको लागि आउने हुनाले शान्त भएर आफ्नो विचार व्यक्त गर्नुहोला ।) ।

त्यसपछि फैसलाको बेलामा आफूले सोचेको कुरा इमानदारपूर्वक भन्ने गर्नुहोला ।

फेरि, वास्तविकतासंग मेल नखाने कुरा या चित्त नबुझेको कुरा भएमा त्यहि समयमा बताउनु होला ।

५ सजाँयको वर्णन

पारिवारिक अदालतले अपनाउने सजाँयमा, तरुण गृहमा बसेर जीवनयापनको सल्लाह लिनको लागि सुधार गृहमा सार्ने, बालबालिका स्वावलम्बन सहयोग केन्द्रमा सार्ने तथा बालबालिका कैद गृहमा पठाउने पर्दछन् ।

また、社会の中で保護観察官や保護司から指導を受ける保護観察もあります。

さらに、検察官送致といって、事件を刑事裁判に回して大人と同様に罰金や懲役という刑罰によって責任をとってもらおうようにすることもあります。

君が十分に反省しており、二度と非行を繰り返すおそれがないと思われる場合には、これらの処分を行わないで事件を終了させることもあります。

また、審判を開かずに今回の手続を終わらせることもあります。

そのほかに、試験観察という中間的な処分もあります。これは、最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を適当な人の所に預けて補導してもらったり、家に帰って普通の社会生活をしたりする中で、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

なお、家庭裁判所による処分がなくても、入国管理当局の判断で、国外退去などを命じられることがあります。

第3 審判手続

1 審判開始の宣言

今から、審判を開いて、君の処分を決めることにします。

今日の手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。

通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

3 黙秘権の告知

फेरि, समाजभित्र संरक्षण निरीक्षक या परीक्षकबाट सुझाव लिने संरक्षण निगरानी पनि छ ।

त्यसमाथि, अभियोक्ताकहाँ पठाउने भनेर घटनालाई अपराधिक अदालतमा पठाएर ठूलो मानिस सरह जरिवाना या जेलसजाँय जस्तो सजाँय दिलाएर उत्तरदायी बनाउने अवस्था पनि छ ।

तिमीले धेरै पश्चाताप गरी, अब आइन्दा यस्तो अपराध दोहोर्याउने सम्भावना नभएको निर्णय गरिएमा, माथि उल्लेखित सजाँयहरु नदिइकन घटनाको मूद्दा नै अन्त्य गर्ने सम्भावना पनि रहन्छ ।

अथवा, अदालती फैसला नै संचालन नगरिकन यसपालिको केशलाई नै अन्त्य गर्ने कुरापनि हुन सक्छ ।

यसबाहेक, अवलोकन जांच भन्ने बीचको सजाँय पनि छ । यो अन्तिम सजाँयको निर्णयगर्नु अगाडी निश्चित समयको लागि तिमीलाई सुहाउँदो मानिसकहाँ बसी तिम्रो हेरविचार गर्न लगाएर, घरमा फर्की सामान्य सामाजिक जीवन बिताउने क्रममा तिम्रो चालचलन या दैनिकी अवलोकन गरी, त्यो प्रक्रिया हेरेर फेरी एकपटक अदालती फैसलालाई शुरु गरी अन्तिम सजाँयको निर्णय गर्ने कुरा हो ।

तर, पारिवारिक अदालतबाट सजाँय थोरै भए पनि, अध्यागमन अफिसको निर्णयबाट देशनिकालाको सजाँय दिन पनि सक्छ ।

अध्याय ३ फैसला प्रक्रिया

१ फैसला शुरुवातको घोषणा

अबबाट फैसला सुनेर तिमीप्रतिको कारवाहिको निर्णय गर्छु ।

आजको प्रक्रियाको बारेमा भन्नुपर्दा, न्यायाधीशले छानेको दोभासेले उल्था गर्ने गर्दछ । दोभासेले इमान्दरपूर्वक उल्था गर्ने प्रतिज्ञा गरेको छ ।

मैले भनेको कुरा नबुझेको खण्डमा जे पनि सोध्नुहोला ।

२ युवाको नाम आदिको सोधपूछ

तिम्रो नाम के हो ?

जन्म मिति कहिले हो ?

कहाँको नागरिक हो ?

जापानमा कहाँ बस्दैछौ ?

के काम गर्दैछौ ?

३ संवैधानिक अधिकारको घोषणा

これから君に質問をしていきますが、君はこれらに無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

言いたいことがあれば、何でも遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

4 被害者等の傍聴がある場合の説明

この事件では、被害者等が審判を傍聴しています。傍聴を許可したのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重したためです。被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。

5 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。よく聞いておいてください。

〔第4（非行事実の告知）参照〕

6 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

7 証人尋問手続

今から、あなたをこの事件の証人として尋問します。

まず、うそをつかないという宣誓をしていただきます。宣誓書の内容を読み上げてください。

（証人）「良心に従って、ほんとうのことを申します。知っていることをかくしたり、無いことを申したりなど、決して致しません。以上のとおり誓います。

証人〇〇」

では、宣誓書に署名押印してください。

証人は、今宣誓したように本当のことを証言してください。

अब केहि प्रश्न गर्छु । जवाफ दिन मन नलागेको बेला जवाफ नदिए पनि हुन्छ । चुप लागेर बस्नाले नराम्रो हुने केहि पनि छैन ।

तर, भन्न मन लागेको कुरा बिना संकोच भन्नुहोला ।

तिमीले भनेका कुराहरु तिमिलाई फाइदाजनक भए पनि नभए पनि सबुतको रूपमा प्रयोग गर्ने सम्भावना पनि छ ।

४ पीडित पक्षबाट फैसला सुन्न उपस्थित भएको अवस्थाको वर्णन

यस घटनाको सन्दर्भमा पीडित पक्षले फैसला सुन्दैछ । फैसला सुन्ने अनुमति दिनुको कारण, फैसलाको अवस्था सीधा आफूले हेरेर अनि सुनेर बिस्तृत रूपमा थाहा पाउन चाहने पीडित पक्षको मनको कुरा र अनुभूतिलाई सम्मान गरेको कारणले हो । पीडित पक्षले फैसला सुन्दैछ, तर शान्तसंग आफ्नो विचार भन्ने गर्नुहोला ।

५ वास्तविक अपराधको वर्णन

अब अभियोक्ता (प्रहरी) बाट पठाइएको घटनाको विवरण पढ्दछु ।

रामरी सुन्नुहोला ।

[अध्याय ४ (वास्तविक अपराधको वर्णन) साभार]

६ युवाको सफाइको सुनुवाई

अहिले पढिरहेको विवरणको बारेमा मेल नखाने कुरा तथा नबुझ्ने कुराहरु भएमा निशंकोच भन्नुहोला ।

७ साक्षी सोधपुछ प्रक्रिया

अबबाट तिमिलाई यस घटनाको साक्षी सम्झेर सोधपुछ गर्दछु ।

सबभन्दा पहिले झुठो बोल्दिन भनेर शपथ गराउन चाहन्छु । शपथ पत्रको विवरण पढ्नुहोस् ।

(साक्षी) 「सद्विवेक अनुसार सत्य कुरा कहन्छु । थाहा पाएको कुरालाई लुकाउने या नभएको कुरा भन्ने जस्तो काम कहिल्यै गर्दिन । माथि भनेका कुराको प्रतिज्ञा गर्दछु । साक्षी○○」

उसो भए शपथ पत्रमा सहि र छाप लगाउनु होला ।

साक्षीले अहिले शपथ लिए जस्तै साँचो कुरा भन्नुहोला ।

宣誓の上でその証言をすると、偽証罪で処罰されることがあります。

証言することによって証人自身又は証人の近親者が刑事訴追を受けたり、有罪の判決を受けたりするおそれのある事柄については、証言を拒むことができます。その場合には、申し出てください。

〔証人尋問の実施〕

以上で証人尋問を終わります。

証人は、御苦労さまでした。

8 聴取の終了

これで話を聴くのを終わりにして、君に対する処分を決めることにします。最後に何か言っておきたいことがあれば言ってください。

9 調査官の意見陳述

既に提出している少年調査票記載の意見欄のとおりで、特に付け加えることはありません。

10 付添人の意見陳述

意見書のとおりで、特に付け加えることはありません。

11 決定などの告知及びその説明

それでは、今から君の処分を告知します。

〔第5（決定などの告知及びその説明）参照〕

12 抗告権の告知（保護処分に付された場合）

この決定に不服があるときは、君や君の法定代理人及び付添人は、抗告することができます。

抗告する場合には、2週間以内に、〇〇高等裁判所宛ての抗告の申立書をこの裁判所に出してください。

抗告の申立書は、少年院などの施設の長又はその代理者を通じて出すことができます。

13 ウィーン条約の説明（少年院送致や少年院への戻し収容の場合）

शपथ लिएपछि झुठो बोलेमा असत्य साक्षी आरोपमा सजाँय दिन पनि सक्छ ।

बयानको आधारमा साक्षी आफैँलाई अथवा आफन्तलाई अभियोग लाग्ने, दोषी करार गर्ने सम्भावना भएको कुराको सन्दर्भमा बयानको लागि संकोच पनि गर्न सकिन्छ । त्यस्तो बेलामा भन्नुहोला ।

[साक्षी सोधपुछ कार्यन्वयन]

यतिले साक्षी सोधपुछ समाप्त हुन्छ ।

साक्षीलाई धन्यवाद छ ।

८ सुनुवाईको अन्त्य

यतिले सुनुवाईको अन्त्य गरी तिमीलाई दिने सजाँयको निर्णय गर्नतिर लाग्छु । अन्त्यमा भन्न मन लागेको केहि छ भने भन्नुहोला ।

९ परीक्षकको विचार अभिव्यक्ति

पहिले नै बुझाइसकेको बाल परीक्षण पत्रमा लेखे बमोजिम भएर अरु थप्नुपर्ने केहि छैन ।

१० सहायकको विचार अभिव्यक्ति

विचार पत्रमा लेखे बमोजिम भएर अरु थप्नुपर्ने केहि छैन ।

११ निर्णयको घोषणा तथा त्यसको बयान

उसो भए अबबाट तिम्रो सजाँयको घोषणा गर्दछु ।

[अध्याय ५ (निर्णयको घोषणा तथा त्यसको बयान) साभार]

१२ परस्पर सम्भाषण सम्बन्धी अधिकारको घोषणा (संरक्षण सजाँयको खण्डमा)

यस निर्णयमा कमी आएको बेलामा तिमी या तिम्रो कानूनी प्रतिनिधि या सहयोगीले यस निर्णयको प्रतिकार गर्न सक्छ ।

प्रतिकार गर्ने सम्बन्धमा २ हप्ताभित्र ○○उच्च अदालत प्रतिको प्रतिकारको निवेदन यस अदालतमा बुझाउनु होला ।

प्रतिकारको निवेदन बाल गृहको आधिकारिक व्यक्ति अथवा सहयोगी मार्फत बुझाउन सकिन्छ ।

१३ भियना सम्झौताको वर्णन (बाल गृहबाट सार्ने अथवा बाल गृहमा फर्काएर राख्ने सन्दर्भमा)

〔二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。〕

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、今までにこの事件で通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

第4 非行事実の告知

1 窃盗罪（万引）の例

「君は、平成○年5月10日午後1時23分頃、東京都○○区○○町1丁目5番12号所在の株式会社○○店において、同店の店長であるAが管理していた万年筆5本（販売価格合計5万円）を盗んだものです。」

2 窃盗罪（バイク盗）の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、Aが所有する第一種原動機付自転車1台（時価約15万円相当）を盗んだものです。」

3 遺失物等横領罪の例

「君は、平成○年7月21日午後9時30分頃、東京都○○区○○町5丁目3番4号所在の○○自転車置場において、その場所に放置されていたAが所有する自転車1台（時価約6000円相当）を発見し、これを自分の物にするつもりで拾得して横領したものです。」

4 傷害罪の例

「君は、平成○年1月15日午後10時30分頃、東京都○○区○○町1丁目6番15号先路上において、Aが君の身体にぶつかったことから口喧嘩し、腹を立てて、持っていた長さ約50センチメートルの木棒でAの頭部を5、6回

[दुई देशबीचको सम्झौताको आधारमा खबर गर्ने स्थिति बाहेक]

यदि तिम्रो इच्छा भएमा कन्सुलर सम्बन्धी भियना सम्झौतामा आधारित भएर तिम्रो देशको जापानी राजदूताबासमा खबर गर्छु ।

तर, प्रहरी या अभियोक्ताले खबर नगरेको खण्डमा मात्र यो लागू हुन्छ ।

खबर गर्नुहुन्छ ?

साथै जापानको कानूनको उल्लङ्घन नभएमा तिम्रो देशको जापानी राजदूताबासलाई पत्र पनि पठाउन सकिन्छ ।

अध्याय ४ अपराध तथ्यको घोषणा

१ चोरी (पसल चोरी) को उदाहरण

「तिमीले सन् ० मे १० को राति १:२३ बजेतिर, टोक्यो ००वार्ड ००शहर १-५-१२ नं ठेगानाको प्राइभेट कम्पनी ००पसलबाट त्यस पसलका मेनेजर A ले सम्भालेर राखेको फाउन्टेन पेन ५ थान (बिक्री मूल्य जम्मा ५० हजार जापानी येन) चोरेको हो ।」

२ चोरी (बाइक चोरी) को उदाहरण

「तिमीले सन् ० अक्टोबर १२ को राति ३:३५ बजेतिर, टोक्यो ००वार्ड ००शहर २-३-५ नं सडकमा भएको Aको स्वामित्वमा रहेको अटोमेटिक साइकल १ थान (तत्कालीन समयको मूल्य करीब १ लाख ५० हजार जापानी येन) चोरेको हो ।」 ३ हराएका बस्तुको चोरी सम्बन्धी अपराधको उदाहरण

३ हराएका बस्तुको चोरी सम्बन्धी अपराधको उदाहरण

「तिमीले सन् ० जुलाई २१ को राति ९:३० बजेतिर, टोक्यो ००वार्ड ००शहर ५-३-४ नं ठेगानामा रहेको साइकल स्ट्याण्डमा राखिएको A को स्वामित्वमा रहेको साइकल १ थान (तत्कालीन समयको मूल्य करीब ६ हजार जापानी येन) भेट्टायेर त्यसलाई आफ्नो बनाउनको लागि टिपेर लगेको हो ।」

४ चोटपटक या हानि पुर्याउने अपराधको उदाहरण

「तिमीले सन् ० जनवरी १५ को राति १०:३० बजेतिर, टोक्यो ००वार्ड ००शहर १-६-१५ नं सडकमा, A र तिम्रो ठोक्किएर भनाभन शुरु भई झगडा भएर रिसको झोकमा

強く叩き、それによって、Aに対し、加療約3週間を要する前頭部裂傷の傷害を負わせたものです。」

5 強盗罪の例

「君は、生活費に困り、通行人からお金を奪い取ろうと考えて、平成○年6月13日午後10時30分頃、東京都○○区○○町3丁目1番12号先路上において、通りかかったA（当時18歳）を近くの路地に連れていき、Aに対し、持っていた登山ナイフを突きつけながら「金出せ。金出せ。」と言って脅迫し、Aが反抗できない状態にした上、Aの所有していた現金3万円を差し出させて奪い取ったものです。」

6 殺人罪の例（その1）

「君は、平成○年7月12日午後10時30分頃、東京都○○区○○町3丁目10番5号所在の平和住宅1号室において、君の長男A（当時生後1か月）の養育に疲れ、将来を悲観して、Aを殺そうと決意し、持っていたタオルでAの頸部を絞めつけるなどし、そのことによりAを窒息死させて殺害したものです。」

7 殺人罪の例（その2）

「君は、平成○年1月31日午後10時30分頃、東京都○○区○○町6丁目3番4号先路上において、A（当時19歳）から身体が触れたことで因縁をつけられ、突然腹部などを数回足蹴りするなどの暴行を加えられたことにかつとなり、とっさに、殺意をもって、持っていたナイフ（刃体の長さ約15センチメートル）で、Aの右胸部を数回突き刺し、右胸部に刺し傷を負わせ、間もなく、その場所において、その刺し傷による出血多量によりAを死亡させて殺害したものです。」

8 覚せい剤取締法違反罪の例

「君は、法定の除外事由がないのに、平成○年10月21日午後10時30分頃、東京都○○区○○町1丁目2番8号所在の平和住宅2号室において、フェニルメチルアミノプロパンの塩類若干量を含有する水溶液を、自分の身体に注

आफुसंग भएको ५० सेन्टिमिटर लामो काठको लट्टीले A को टाउकोमा ५, ६ चोटी बेस्सरी हिकोई, A लाई ३ हप्ता जति उपचार गर्नुपर्ने गरी टाउको फुटाउने जस्तो चोटपटक पुर्याएको छ ।]

५ डकैती सम्बन्धि अपराधको उदाहरण

「तिमीले जीवनयापन कठिन भएर बाटोमा हिड्ने मानिसबाट पैसा लुटेर लिने विचारले, सन् ० जून १३ को राति १०:३० बजेतिर, टोक्यो ००वार्ड ००शहर ३-१-१२ नं सडकमा, हिडिरहेको A (तत्कालीन १८ वर्ष) लाई नजिकैको गल्लीमा लिएर गई आफुसंग भएको ट्रेकिंग नाइफ A लाई तेर्स्यार 「カネダセ。カネダセ」 भन्दै तर्साए, A ले प्रतिरोध गर्न नसक्ने अवस्थामा पारी A संग भएको नगद ३० हजार येन निकाल्न लगाई लुटेको हो ।]

६ हत्या सम्बन्धि अपराधको उदाहरण (भाग १)

「तिमीले सन् ० जुलाई १२ को राति १०:३० बजेतिर, टोक्यो ००वार्ड ००शहर ३-१०-५ नं ठेगानाको हेइवा अपार्टमेन्ट १ नं कोठामा, तिम्रो जेठो छोरो A (तत्कालीन जन्मेर १ महिना) को पालनपोषणमा थाकेर आफ्नो भविष्य पनि अन्धकारपूर्ण देखी, A को हत्या गर्ने निर्णय गरी हातमा भएको टावेलले A घाँटी कसी, त्यही कारणले A को निस्सासिएर मृत्यु हुन गएको छ ।]

७ हत्या सम्बन्धि अपराधको उदाहरण (भाग २)

「तिमीले सन् ० जनवरी ३१ को राति १०:३० बजेतिर, टोक्यो ००वार्ड ००शहर ६-३-४ नं को सडकमा, A (तत्कालीन १९ वर्ष) ले आफुसंग जिउ ठोक्किएको निहुँमा एक्कासी आफ्नो पेटमा कैयौं पटक लात्ताले हिकोउने जस्तो हिंसात्मक कार्य भएकोले रिसको झोकमा एकैपटक ज्यान मार्ने मनसायले आफुसंग भएको चक्कू (धारको भागको लम्बाई करीब १५ सेन्टिमिटर) ले A को दाँया छातीमा कैयौं पटक रोपेर दाँया छातीको भागमा घाउ बनाई, केहि छिनमै चक्कू रोपेको घाउबाट धेरै रगत बग्ग गई A को मृत्यु हुने गरी हत्या गरेको हो ।]

८ लागूऔषध कानून उलंघन अपराधको उदाहरण

「तिमीले कानूनी अपवादको कारणबिना नै सन् ० अक्टोबर २१ को राति १०:३० बजेतिर, टोक्यो ००वार्ड ० ०शहर १-२-८ नंको हेइवा रेसिडेन्सी २ नं कोठामा, फेनिल्मेथिलअमिनोप्रोपेनको नूनिलो तत्व समावेश भएको तरल पदार्थ आफ्नो दाहिने पाखुरामा

射し、覚せい剤を使用したものです。」

9 毒物及び劇物取締法違反罪の例

「君は、平成○年5月12日午後10時30分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、興奮、幻覚又は麻酔の作用を有する劇物で、政令で定められたトルエンを、みだりに吸入したものです。」

10 過失運転致傷罪の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町3丁目7番8号先路上において、普通乗用自動車を運転して○○区○○町方面から○○区○○町方面に向かい、時速約80キロメートルの速度で進行中、その場所の手前は左方にカーブして前方の見通しが困難であったので、あらかじめ減速し安全に走行できるようにハンドル、ブレーキなどを的確に操作して進行すべき運転者としての注意義務があったのに、これを怠り、先程の速度のまま的確なハンドル操作をせずに進行した過失により、自分の自動車を対向車線に進入させ、対向して進行してきたA（当時21歳）運転の普通乗用自動車の前部に自分の自動車の右前部を衝突させ、Aに全治約2か月間を要する右大腿骨骨折などの傷害を負わせたものです。」

11 道路交通法違反（無免許運転）の例

「君は、公安委員会の運転免許を受けないで、平成○年10月5日午後10時30分頃、東京都○○区○○町5丁目9番5号○○町交差点付近路上において、自動二輪車を運転したものです。」

12 道路交通法違反（速度違反）の例

「君は、平成○年2月13日午後10時30分頃、公安委員会が道路標識によって最高速度を時速40キロメートルと定めた東京都○○区○○町2丁目5番7号付近道路において、その最高速度を超える時速80キロメートルで普通乗用自動車を運転したものです。」

13 売春防止法違反の例

इन्जेक्सन गरी लागूऔषधको प्रयोग गरेको हो ।]

९ विषालु तथा घातक पदार्थ कानून उलंघन अपराधको उदाहरण

「तिमीले सन् ० मे १२ को राति १०:३० बजेतिर, टोक्यो ००वार्ड ००शहर २-३-५ नं सडकमा, उत्तेजित हुने, भ्रमित पार्ने तथा लटठ पार्ने जस्तो पारिदिने घातक पदार्थ समावेश भएको, सरकारद्वारा अनुमति प्राप्त तोलुएन भन्ने औषधि धेरै मात्रामा सेवन गरेको हो ।]

१० लापरवाही पूर्वक ड्राइभिङ गरी घाइते बनाएको अपराधको उदाहरण

「तिमीले सन् ० अक्टोबर १२ को दिउँसो ३:३५ बजेतिर, टोक्यो ००वार्ड ००शहर ३-७-८ नं सडकमा, साधारण कार चलाउँदै ००वार्ड ००शहरबाट ००वार्ड ००शहरतर्फ प्रति घण्टा ८० कि.मि.को गतिमा गुडिरहेको बेला, त्यस ठाउँको अगाडी देब्रेतर्फ मोड भएर अगाडिको दृश्यहरू राम्ररी अदेखिने कारणले बिस्तारै हाँकेर स्पिड नियन्त्रण गरी सुरक्षितका साथ स्टेरिड या ब्रेक चलाएर अगाडी बढ्नुपर्ने थियो, सवारी चालकको रूपमा यी सबै कुरालाई ध्यानमा राखेर ड्राइभिङ गर्नुपर्नेमा मोडमा पनि प्रति घण्टा ८० कि.मि.को गतिमा सवारी चलाएर गाडीलाई बिपरित दिशाको लाइनमा प्रवेश गराई विपरित लाइनबाट गुडेर आइरहेको A (तत्कालीन २१ वर्ष) को गाडीको अगाडिको भागमा आफ्नो गाडीको अगाडिको दाहिने भाग ठोक्काएर, A को दाँया तिघाको हाड भाँचिने जस्तो निको हुनको लागि २ महिनाको समय लाग्ने चोट पुर्याएको हो ।]

११ सडक यातायात नियम उलंघन (बिना लाइसेन्सको सवारी चालन) को उदाहरण

「तिमीले सार्वजनिक सुरक्षा डिभिजनबाट ड्राइभिङ लाइसेन्स नालिकन सन् ० अक्टोबर ५ को राति १०:३० बजेतिर, टोक्यो ००वार्ड ००शहर ५-९-५ नं ००शहरको चौबाटो नजिकको सडकमा दुई पांग्रे अटोमेटिक मोटरसाइकल चलाएको हो ।]

१२ सडक यातायात नियम उलंघन (स्पिड उलंघन) को उदाहरण

「तिमीले सन् ० फेब्रुअरी १३ को राति १०:३० बजेतिर, सार्वजनिक सुरक्षा डिभिजनले सडकको अधिकतम गति ४० कि.मि. प्रति घण्टा भनेर तोकिएको टोक्यो ००वार्ड ००शहर २-५-७ नं नजिकैको सडकमा तोकिएको गतिभन्दा पनि धेरै छिटो ८० कि.मि. प्रति घण्टाको गतिले गाडी चलाएको हो ।]

१३ देहव्यापार रोकथाम कानून उलंघनको उदाहरण

「君は、売春をする目的で、平成○年3月10日午後6時35分頃、東京都○○区○○町1丁目1番18号付近路上において、その場所を通行中のAに対し、「遊びませんか社長。ホテルいい3万円。」などと言って誘い、公衆の目に触れるような方法で人を売春の相手方となるよう勧誘したものです。」

14 出入国管理及び難民認定法違反の例

「君は、○○国国籍を有する外国人で、平成○年6月12日、○○国の政府が発行した旅券を持って、千葉県成田市にある新東京国際空港に上陸して日本の国に入ったものですが、在留期限は同年6月27日までであったのに、その日までに日本の国から出国せず、平成○年6月9日まで、東京都○○区○○町3丁目5番12号に住み、在留期間を経過して不法に日本の国に残留したものです。」

15 ぐ犯の例

「君は、○○国の養父母のもとで育ち、平成○年4月20日頃、出稼ぎのために来日し、その年の5月1日頃からストリップ劇場でダンサーとして働くようになりました。その後、同じような劇場数か所を転々とし、現在は、東京都○○区○○町2丁目3番8号所在の、暴力団○○組幹部で覚せい剤取締法違反の前科、前歴を有するA方のアパートに泊まり、A及びその仲間と共に無為徒食の生活を送っていました。そして、この間、君は、数十名の劇場の客や複数の暴力団組員と性的関係を持って小遣いをもらうなど、いかがわしい場所に入りするとともに、犯罪性のある人と交際しています。君の性格、環境に照らし、将来、売春防止法違反あるいは覚せい剤取締法違反の罪を犯すおそれがあるというのが事件の内容です。」

第5 決定などの告知及びその説明

1 保護観察決定などの告知及びその説明

(1) 保護観察決定の告知及びその説明

「तिमीले देहव्यापार गर्ने उदेश्यले, सन् ० मार्च १० को साँझ ६:३५ बजेतिर, टोक्यो ००वार्ड ००शहर १-१-१८ नं नजिकैको सडकमा हिंडिरहेको A लाई, 「アソビマセンカシヤチヨウ。ホテルイイ 3 マンエン」 आदि भनेर निम्त्याइ सार्वजनिक स्थलमा देखिने किसिमले मानिसलाई देहव्यापारमा संलग्न गर्न खोजेको क्रियाकलाप हो ।」

१४ अध्यागमन तथा शरणार्थी अनुमति कानून उलंघनको उदाहरण

「तिमी ००देशको राष्ट्रियता भएको बिदेशीको रूपमा सन् ० जून १२ मा, ००देशको सरकारले प्रवाह गरेको पासपोर्ट लिएर चिबा प्रिफेक्चर नारिता शहरमा भएको नयाँ टोक्यो अन्तर्राष्ट्रिय विमानस्थलमा अवतरण गरी जापानमा प्रवेश गरेको हो । तर, भिसाको अवधि सोहि वर्षको जून २७ सम्म मात्र भएकोमा, त्यस दिनभित्रमा जापानबाट बाहिर नगइकन सन् ० जून ९ सम्म टोक्यो ००वार्ड ००शहर ३-५-१२ मा बसी जापानमा बस्न पाउने अवधि सकिएर कानून विपरित जापानमा बस्दै आएको हो ।」

१५ कुकर्मको उदाहरण

「तिमी ००देशको धर्म पितामाताबाट हुर्काइएर सन् ० अप्रिल २० तिर काम गर्नको लागि जापानमा आई, त्यहि वर्षको मे १ तिरदेखि स्ट्रिप थिएटरमा डान्सरको रूपमा काम गर्न थाल्यौ । त्यसपछि, त्यस्तै खालको थिएटरमा धेरै ठाउँमा काम सार्दै अहिले टोक्यो ००वार्ड ००शहर २-३-८ नं ठेगानाको, माफिया ग्रुप ००ग्रुप लिडर भई लागूऔषध कानून उलंघन अपराधको रेकर्ड, पृष्ठभूमि भएको A को अपार्टमेन्टमा बसी, A तथा उसको साथीहरूसंग शाकाहारी जीवन बिताइरहेको थियो । त्यसपछि यो समयमा तिमीले जीविकोपार्जनको लागि पैसा लिएर केहि थिएटरका पाहुना या कतिपय माफियाका सदस्यहरूसंग यौन सम्पर्क राख्ने काम गर्यौ । साथै, तिमीले त्यति इज्जत नभएको ठाउँमा आवतजावत गर्ने, अपराधीहरूसंग पनि संगत गर्यौ । तिम्रो स्वभाव र वातावरणलाई प्रकाश पार्दा भविष्यमा देहव्यापार रोकथाम नियमको उलंघन तथा लागूऔषध सेवन रोकथाम कानूनको उलंघन गर्न सक्ने सम्भावना देखिन्छ भन्ने यस घटनाको विवरण हो ।」

अध्याय ५ निर्णयको जानकारी तथा त्यसको बर्णन

१ परीक्षण कालको निर्णय तथा जानकारीको वर्णन

(१) परीक्षण कालको निर्णय तथा जानकारीको वर्णन

君を〇〇保護観察所の保護観察に付します。

保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官や保護司の指導を受けることとなります。

(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明

君を交通保護観察に付します。ただし、保護観察所に対しては、短い期間で処遇が終わるようという勧告を付けておくこととします。

交通保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官による指導を受けるほか、交通に関する講習を受けることとなります。

2 児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明

君を児童自立支援施設（児童養護施設）に送致します。

君は児童自立支援施設（児童養護施設）に入所し、施設の職員から生活指導などを受けることとなります。

3 少年院送致決定などの告知及びその説明

(1) 少年院送致決定の告知及びその説明

君を第〇種少年院に送致します。

君は、少年院に収容され、生活指導などの矯正教育を受けることとなります。

(2) 処遇勧告の告知及びその説明

ア 短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

イ 特別短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、特に短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

また、できる限り日課の一部を君に計画させ、実施させることなど開放的な教育を受けることができるよう求める勧告も付けておくこととします。

4 不処分決定の告知

तिमीलाई ○○परीक्षण कार्यालयको परीक्षण अवलोकनमा राखिन्छ ।

परीक्षण अवलोकनमा, सामाजिक जीवन बिताउँदै परीक्षण अवलोकन अधिकृत या परीक्षकको निर्देशन लिने गरीन्छ ।

- (२) छोटो अवधिको यातायात सम्बन्धि परीक्षण अवलोकनको कार्यान्वयनको निर्णय तथा जानकारीको वर्णन

तिमीलाई यातायात सम्बन्धि परीक्षण अवलोकनमा राखिन्छ । तर, परीक्षण केन्द्रको हकमा छोटो अवधिमा कार्यान्वयन सकिने गरी भन्ने सुझाव पनि संगै राखेको छु ।

यातायात सम्बन्धि परीक्षण अवलोकन अन्तर्गत परीक्षण अवलोकनमा, सामाजिक जीवन बिताउँदै परीक्षण अवलोकन अधिकृत या परीक्षकको निर्देशन लिने गरीन्छ ।

- २ बाल आत्मनिर्भर सहयोग गृह तथा बाल रेखदेख गृहमा सार्ने निर्णयको जानकारी तथा वर्णन

तिमीलाई बाल आत्मनिर्भर सहयोग गृह (बाल रेखदेख गृह) मा पठाइनेछ ।

तिमी बाल आत्मनिर्भर सहयोग गृह (बाल रेखदेख गृह) मा भर्ना भई, गृहको कर्मचारीबाट दैनिक जीवन सम्बन्धि सुझाव लिनुपर्ने हुन्छ ।

- ३ बाल गृहमा पठाउने निर्णयको जानकारी तथा वर्णन

- (१) बाल गृहमा पठाउने निर्णयको जानकारी तथा वर्णन

तिमीलाई नं○किसिमको बाल गृहमा पठाइन्छ ।

तिमीलाई बाल गृहमा पठाई, दैनिक जीवनसंग सम्बन्धि सहयोग जस्ता सुधार शिक्षा दिन लगाइनेछ ।

- (२) कार्यान्वयनको निर्णय तथा जानकारीको वर्णन

आ छोटो अवधिको कार्यान्वयनको वर्णन

बाल गृहको सन्दर्भमा छोटो अवधिमा कार्यान्वयन सकाउनु उपयुक्त हुने जानकारी पनि संगै गाँसिएको छ ।

- इ विशेष छोटो अवधिको कार्यान्वयनको निर्णय तथा जानकारीको वर्णन

बाल गृहको सन्दर्भमा विशेष गरी छोटो अवधिमा कार्यान्वयन सकाउनु उपयुक्त हुने जानकारी पनि संगै गाँसिएको छ ।

त्यसका साथै, सकेसम्म दैनिक योजनाको एक भाग तिमीलाई बनाउन लगाई कार्यान्वयन गर्ने जस्तो स्वतन्त्ररूपको शिक्षा हासिल गर्न सक्ने गरी अनुरोध गर्ने सुझाव पनि संगै गाँसिएको छ ।

- ४ सजाँय नदिने निर्णय भएको जानकारी

君を保護処分につさないことにします。

5 知事又は児童相談所長への送致決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長（〇〇知事）に送致します。

6 検察官送致決定の告知

君の事件を〇〇地方検察庁の検察官に送致します。

7 強制的措置許可決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長に送致します。

児童相談所長が、君に対し、平成〇年〇月〇日から、〇年間に、通算〇〇日を限度として、君の自由を制限する強制的な措置をとることを許可することとします。

8 強制的措置不許可決定の告知

児童相談所長が君に対して君の自由を制限するような強制的な措置をとることは、許可しないこととしました。

9 試験観察決定などの告知及びその説明

君を家庭裁判所調査官〇〇の観察に付します。

試験観察は、君に対する最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を〇〇に預けて補導してもらいながら（家に帰って普通の社会生活をしながら）、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

君に対し、試験観察中に守るべき事柄として、①・・・、②・・・を指示します。

10 没取決定の告知

押収してある〇〇を没取します。

11 訴訟費用負担決定の告知

家庭裁判所に送致される前の国選弁護費用として要した訴訟費用〇〇万円は君に負担させることにします。

- तिमीलाई संरक्षित सजाँय नदिने निर्णय गरिएको छ ।
- ५ गभर्नर या बाल सल्लाह केन्द्र प्रमुखलाई पठाउने निर्णयको जानकारी
तिम्रो घटना ○○बाल सल्लाह केन्द्र प्रमुख (○○गभर्नर) लाई पठाउँछु ।
- ६ अभियोक्तालाई पठाउने निर्णयको जानकारी
तिम्रो घटना ○○जिल्ला अभियोक्ता कार्यालयको अभियोक्तालाई पठाउँछु ।
- ७ कृत्रिम अभ्यासको अनुमति निर्णयको जानकारी
तिम्रो घटना ○○बाल सल्लाह केन्द्र प्रमुखलाई पठाउँछु ।
बाल सल्लाह केन्द्र प्रमुखले तिमीप्रति सन् ○○महिना○गतेदेखि ○वर्षमा जम्मा ○○
दिन सीमाको रूपमा तिम्रो स्वतन्त्रतालाई परिमित गर्ने कृत्रिम अभ्यासलाई अपनाउने कुरालाई
अनुमति दिइएको छ ।
- ८ कृत्रिम अभ्यासको अनुमति नदिने निर्णयको जानकारी
बाल सल्लाह केन्द्र प्रमुखले तिमीप्रति तिम्रो स्वतन्त्रतालाई परिमित गर्ने कृत्रिम अभ्यासलाई
अपनाउने कुरालाई अनुमति नदिने भयो ।
- ९ जांच निगरानी निर्णय आदिको जानकारी तथा वर्णन
तिमीलाई पारिवारिक अदालत परीक्षक ○○ को निगरानीमा बाँध्छु ।
जांच निगरानी अन्तर्गत, तिम्रो अन्तिम सजाँयको निर्णय गर्नु अगाडि, केहि समय
तिमीलाई ○○ मा राखेर हेरविचार गरी (घरमा फर्केर साधारण सामाजिक जीवनयापन गरी) ,
तिम्रो क्रियाकलाप या दैनिक जीवन निगरानी गरी, त्यो अवस्थालाई हेरेर फेरी एकचोटी
फैसलाको आयोजना गरी अन्तिम सजाँयको निर्णय गर्ने गरिनेछ ।
तिमीले जांच निगरानीको अवधिमा पालना गर्नुपर्ने कुराहरु ① . . . , ② . . . मा
उल्लेख गरिएको छ ।
- १० सर्वस्वहरण निर्णयको जानकारी
जफत गरेर राखेको ○○ सर्वस्वहरण गर्दछु ।
- ११ मूद्दा खर्च व्यहोर्ने निर्णयको जानकारी
पारिवारिक अदालतमा पठाउनु अगाडिको अदालतको वकिलको खर्चको रूपमा आवश्यक
परेको मूद्दा खर्चको ○○ हजार येन तिमीले व्यहोर्नुपर्ने गर्दछु ।

12 戻し収容決定の告知

君を第○種少年院に戻して収容します。

13 収容継続決定の告知

君を平成○年○月○日まで第○種少年院に継続して収容します。

14 保護処分取消決定の告知

君に対する保護観察（児童自立支援施設送致，児童養護施設送致，少年院送致）
決定を取り消します。

15 施設送致決定の告知

〔前記 2（児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明）
及び 3（少年院送致決定などの告知及びその説明）参照〕

- १२ फिर्ता गरी बन्धकमा राख्ने निर्णयको जानकारी
तिमीलाई नं० बाल गृहमा फिर्ता गरी बन्धक बनाइन्छ ।
- १३ बन्धक जारी राख्ने निर्णयको जानकारी
तिमीलाई सन्००महिना०गतेसम्म नं० बाल गृहमा बन्धकको रूपमा जारी राख्दछु ।
- १४ संरक्षण कार्यान्वयनको प्रतिवाद निर्णयको जानकारी
तिमीमाथि गरिएको संरक्षण निगरानी (बाल आत्मनिर्भर सहयोग गृहमा पठाउने, बाल रेखदेख गृहमा पठाउने, बाल गृहमा पठाउने) निर्णयको प्रतिवाद गर्दछु ।
- १५ गृहमा पठाउने निर्णयको जानकारी
[माथि उल्लेखित २ (बाल आत्मनिर्भर सहयोग गृह तथा बाल रेखदेख गृहमा सार्ने निर्णयको जानकारी तथा वर्णन) तथा ३ (बाल गृहमा पठाउने निर्णयको जानकारी तथा वर्णन) साभार]

第6 書式例

書式1 少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）

少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について（ ）少年鑑別所へ送致されることになりました。少年に対しては、以後、原則として、次の手続で処分が決められます。
 - (1) 観護措置
少年鑑別所では、少年の身柄を確保し、併せて、少年の心身の鑑別を行います。ここでの収容期間は、通常、最大限4週間です。なお、場合によっては、最大限8週間まで更新されることがあります。
 - (2) 調査
(1)の鑑別と並行して、家庭裁判所調査官が少年に関する調査を行います。この調査の目的は、非行の原因、少年の性格や行動のみならず、家庭、学校、職場、友人関係などの環境等について調査し、少年に対して最も有効適切な処分は何かを明らかにすることです。
 - (3) 審判
(2)の調査が終わると、審判を開きます。審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。
審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のできない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めるときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
 - (1) 保護観察
通常 of 社会生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
 - (2) 児童自立支援施設又は児童養護施設送致
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
 - (3) 少年院送致
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
 - (4) 検察官送致
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
 - (5) 不処分
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
 - (6) 試験観察
(1)から(5)までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて指導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
 - (1) 付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - (2) 黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - (3) 不服申立書
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

फाराम १ : बालक र रक्षकका लागि (रोकावटको लागि)

बालक र रक्षकका लागि:

१. यसपटक बालकसंरक्षण घटनाबारे तरुण गृहमा पठाउने निर्णय भयो । बालकको लागि यसपछि नियमानुसार निम्न तरिकाले कारवाही गरिने निर्णय गरिएको छ:

(१) रोकथाम प्रक्रिया

तरुण गृहमा बालकलाई राखी बालकको मन र शरीरको मिलाएर जांच गरिन्छ । यस तरुण गृहमा राखिने अवधि साधारणतया लामोमा ४ हप्ता हुन्छ । तर, अवस्था हेरेर लामो अवधिमा हप्तासम्म परिवर्तन गर्न पनि सक्छ

(२) छानबिन

(१) को वर्गीकरण संघै समानान्तर भएर पारिवारिक अदाक्षकद्वारा बालकसंग सम्बन्धित छानबिन गरिन्छ यस छानबिनको उद्देश्य अपराधको कारण, बालकको स्वभाव या क्रियाकलाप मात्र नभएर परिवार, विद्यालय, कार्यस्थल, इष्टमित्रसम्बन्ध आदि वातावरणको छानबिन गरी बालकको लागि सबभन्दा उपयुक्त तथा प्रभावकारी कारवाही कुन हो भनेर प्रष्ट पार्नु हो ।

(३) सुनुवाई

(२) को छानबिन सकिएपछि सुनुवाई शुरु हुन्छ । सुनुवाई निर्णयको एक किसिम हो, तर यो गोप्य भई अदालतमा बालक, अभिभावक (परिचारक भएको बेला) मा परिचारक पनि उपस्थित हुन्छन् (अवस्था अनुसार विद्यालयको शिक्षक, परीक्षक, अभियोक्ता आदि पनि उपस्थित हुन सक्छन्) ।

सुनुवाई अन्तर्गत बालकले अपराध गरेको छ वा छैन, साथै, बालकको स्वभाव, वातावरण आदिमा समस्या छ वा छैन भन्ने बारेमा अनुसन्धान भई पारिवारिक अदालत परीक्षकको छानबिन परिणामलाई आधार बनाई, न्यायाधीशले बालक प्रकृति फैसला सुनाउँछ । न्यायाधीशबाट सोधिएको प्रश्नको हकमा वास्तविकतासंग मेल नखाने वा चित्त नबुझ्ने बुदा भएमा भन्नुहोला । साथै, छानबिन गर्नुपर्ने साक्षी या सबूत भएमा भन्न सकिन्छ (अदालतले आवश्यक छ भनेर स्वीकारेको खण्डमा छानबिन शुरु हुन्छ) ।

२. पारिवारिक अदालतमा आयोजना गरिने प्रमुख कारवाहीहरु निम्न अनुसार रहेको छ:

(१) परिक्षणात्मक निगरानी

सामान्य सामाजिक जीवनयापन गरी परिक्षणात्मक निगरानी केन्द्रको परिक्षणात्मक निगरानी अधिकृत आदिको निर्देशनमा बालकको सुधार या पुनर्स्थापना गर्नु हो ।

(२) बाल आत्मनिर्भर सहयोग गृह तथा बाल रेखदेख गृहमा सार्ने

बालकलाई यी गृहहरुमा राखी आवश्यक पर्ने निर्देशन तथा रेखदेख प्रदान गरिन्छ

(३) बाल गृहमा पठाउने

बालकलाई बाल गृहमा राखी सुधार शिक्षा दिन लगाइन्छ ।

(४) अभियोक्ताकहाँ पठाउने

वयस्कलाई गरिने प्रक्रियासंग मिल्दोजुल्दो प्रक्रियाबाट अपराधी अदालतमा पुर्याउनको लागि घटना विवरण अभियोक्ताकहाँ पठाइन्छ ।

(५) कारवाही नगर्ने

बालकले अपराध नगरेको खण्डमा या अपराध गरे पनि केही गर्न नसकेको खालको नभएमा कारवाही गरिदैन ।

(६) जांच निगरानी

(१) देखाई सम्मको अन्तिम कारवाहीको निर्णय गर्नको लागि केही समय बालकको क्रियाकलाप, रेखदेखको निगरानी गरिने । जांच निगरानीको समयमा बालकलाई निजी गृहमा राखी निर्देशन दिने (बालकको रेखदेख गतिबद्धि) पनि छ ।

३. बालक या संरक्षकलाई निम्न अधिकारहरुको मान्यता दिइएको छ:

(१) सहायक छनौटको अधिकार

बालक तथा संरक्षकले सहायकको छनौट गर्न सक्छ सहायक पारिवारिक अदालतको सुनुवाईको सहयोगीका साथै अपराधी अदालतको वकिल पनि हुनसक्छ । वकिल बाहेक संरक्षकसम्वन्धी मानिस पनि अदालतको अनुमति भएमा सहायक बन्न सकिन्छ ।

(२) मौन बस्न पाउने अधिकार

बालकले न्यायाधीशले सोधेको प्रश्नको उत्तर जबर्जस्त दिनु आवश्यक छैन । तर, अदालतले बालकले भनेका कुराहरुको आधारमा सुहाउँदो फैसला गर्न हुनाले भन्न मन लागेको कुरा जे पनि प्रष्टसंग भन्नुहोला ।

(३) प्रतिवादको रिट निवेदन दिने अधिकार

यदि बालक २ को (१) देखाई सम्मको फैसलामा असन्तुष्ट भएमा, बालक, अदालतको प्रतिनिधि या सहायकले २ हप्ताभित्र सर्वोच्च अदालतमा प्रतिवादको रिट निवेदन दायर गर्न सक्छ

४. माथि उल्लेखित कुराहरुमा अस्पष्ट या नबुझेको कुरा भएमा अदालत कारिन्दा या पारिवारिक अदालत परीक्षकलाई सोध्नुहोला ।

मिति:

.....शाखा कार्यालय

पारिवारिक अदालत

書式2 少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）

少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について家庭裁判所で審判を受けることになりました。
審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。
裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のできない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めたときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
 - (1) 保護観察
通常の世界生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
 - (2) 児童自立支援施設又は児童養護施設送致
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
 - (3) 少年院送致
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
 - (4) 検察官送致
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
 - (5) 不処分
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
 - (6) 試験観察
(1) から (5) までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて補導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
 - (1) 付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - (2) 黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - (3) 不服申立書
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

फाराम २: बालक र रक्षकका लागि (रोकावट नगर्न को लागि)

बालक र रक्षकका लागि

१. यसपटक बालकसंरक्षण घटनाबारे तरुण गृहमा पठाउने निर्णय भयो ।
सुनुवाई निर्णयको एक किसिम हो, तर यो गोप्य भई अदालतमा बालक, अभिभावक (परिचारक भएको बे लामा परिचारक पन्थिपस्थित हुन्छन् (अवस्था अनुसार विधालयको शिक्षक, परीक्षक, अभियोक्ता आदि पनि उपस्थित हुन सक्छन् ।) । सुनुवाई अन्तर्गत बालकले अपराध गरेको छ वा छैन, साथै, बालकको स्वभाव, वातावरण आदिमा समस्या छ वा छैन भन्ने बारेमा अनुसन्धान भई पारिवारिक अदालत परीक्षकको छानबिन परिणामलाई आधार बनाई, न्यायाधीशले बालक प्रतिको सैला सुनाउंछ ।
न्यायाधीशबाट सोधिएको प्रश्नको हकमा वास्तविकतासंग मेल नखाने वा चित्त नबुझेने बुंदा भएमा भन्नुहोला । साथै, छानबिन गर्नुपर्ने साक्षी या सबूत भएमा भन्न सकिन्छ (अदालतले आवश्यक छ भनेर स्वीकारको खण्डमा छानबिन शुरु हुन्छ ।) ।
२. पारिवारिक अदालतमा आयोजना गरिने प्रमुख कारवाहीहरू निम्न अनुसार रहेको छः
 - (१) परिक्षणात्मक निगरानी
सामान्य सामाजिक जीवनयापन गरी परिक्षणात्मक निगरानी के न्द्रको परिक्षणात्मक निगरानी अधिकृत आदिको निर्देशनबाट बालकको सुधार या पुनर्स्थापना गर्नु हो ।
 - (२) बाल आत्मनिर्भर सहयोग गृह तथा बाल रेखदेख गृहमा सार्ने
बालकलाई यी गृहहरूमा राखी आवश्यक पर्ने निर्देशन तथा रेखदेख प्रदान गरिन्छ ।
 - (३) बाल गृहमा पठाउने
बालकलाई बाल गृहमा राखी सुधार शिक्षा दिन लगाइनेछ ।
 - (४) अभियोक्ताकहाँ पठाउने
वयस्कलाई गरिने प्रक्रियासंग मिल्दोजुल्दो प्रक्रियाबाट अपराधी अदालतमा पुर्याउनको लागि घटना विवरण अभियोक्ताकहाँ पठाइन्छ ।
 - (५) कारवाही नगर्ने
बालकले अपराध नगरेको खण्डमा या अपराध गरे पनि केही कारवाही गर्नुपर्ने खालको नभएमा कारवाही गरिदैन ।
 - (६) जांच निगरानी
(१) दे र्छि) सम्मको अन्तिम कारवाहीको निर्ण य गर्न को लागि के ही समय बालकको क्रियाकलाप, रे कर्ड को निगरानी गरिने । जांच निगरानीको समयमा बालकलाई निजी गृहमा राखी निर्देशन दिने (बालकको रे खदे ख गर्न)प्रसिद्धि ।
३. बालक या सं रक्षकलाई निम्न ङ्कारहरूको मान्यता दिइएको छः
 - (१) सहायक छनौटको अधिकार
बालक तथा संरक्षकले सहायकको छनौट गर्न सक्छ। सहायक पारिवारिक अदालतको सुनुवाईको सहयोगीका साथै अपराधी अदालतको वकिल पनि हुनसक्छ । वकिल बाहेक संरक्षक या सामान्य मानिस पनि अदालतको अनुमति भएमा सहायक बन्न सकिन्छ ।
 - (२) मौन बस्न पाउने अधिकार
बालकले न्यायाधीशले सोधेको प्रश्नको उत्तर जबर्जस्त दिनु आवश्यक छैन । तर, अदालतले बालकले भनेका कुराहरूको आधारमा सुहाउँदो फैसला गर्ने हुनाले भन्न मन लागेको कुरा जे पनि प्रष्टसंग भन्नुहोला ।
 - (३) प्रतिवादको रिट निवे दन दिने अधिकार
यदि बालक २ को (१) दे र्छि) सम्मको फैसलामा असन्तुष्ट भएमा, बालकले, अदालतको प्रतिनिधि या सहायकले २ हप्ताभित्र सर्वोच्च अदालतमा प्रतिवादको रिट निवेदन दायर गर्न सक्छ ।
४. माथि उल्लेखित कुराहरूमा अस्पष्ट या नबुझेको कुरा भएमा अदालत कारिन्दा या पारिवारिक अदालत परीक्षकलाई सोध्नुहोला ।

मिति:

.....शाखा कार्यालय

पारिवारिक अदालत

फाराम ३: सुनुवाई हुने दिनको सूचना

२०___ स्यो नं. बाल अपराध मूद्दा :

सुनुवाई हुने दिनको सूचना

लाई ,

बालक:

रक्षक:

माथि उल्लेखित बालकको बारेमा संरक्षण घटनाको सुनुवाई हुने भएकोले बालक र रक्षक दुबैलाई संगै यो पत्र लिएर सन्.....महिनातारिख मा यस अदालतमा आउनुहोला ।

नोट: यदि यो दिनमा अदालतमा उपस्थित हुन नसकेमा त्यसको कारण स्पष्ट खुलाएको पत्र तल उल्लेखित अदालतको सचिवलाई चाँडो पठाउनुहोला ।

मिति : वर्ष/महिना/दिन

पारिवारिक अदालत

अदालत सचिव:

(टिप्पणी)

पारिवारिक अदालत

फोन.

एक्सटे न्सन

書式 4 呼出状

平成 年 少年第 号

呼 出 状

少年 殿

保護者 殿

少年

年 月 日生

住居

上記少年に対する保護事件の審判を、きたる 月 日 午前 時行います
ので に出頭して下さい。

なお、正当な理由がないのにこの呼出しに応じないと同行状を発することがあります。

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判官

- 注意 1 当日は認印を持参し、この呼出状を当庁書記官室に差し出して下さい。
2 病气その他で出頭できないときは、必ず電話、手紙などで当庁書記官室に連絡して下さい。

फाराम ४: बिज्ञप्ति

२०___ स्यो नं.

बिज्ञप्ति

लाई ,

बालकः

रक्षकः

बालकको नाम :

जन्म मिति :

ठे गाना

माथि उल्लेखित बालकको बारेमा संरक्षण घटनाको सुनुवाई हुने भएकोले आउँ दो _____ महिना _____ दिन _____ बजे _____ मा उपस्थित हुनुहोला ।

यदि कुनै सान्दर्भिक कारण बिना उपस्थित नभएमा पक्राउ गरी अदालतमा लिएर आउने अधिकार पत्र जारी गरिने छ

मिति:

पारिवारिक अदालत

न्यायाधीशः

नोट १. अदालतमा आउने बे लामा आफ्नो सहि छाप र यो बिज्ञप्ति पत्र अदालत सचिवको कार्यालयमा बुझाउनुहोला ।

नोट २. बिरामी भएर या अन्य केहि कारणले अदालतमा उपस्थित हुन नसकेमा अवश्य फोन या पत्र बाट अनुपस्थितिको कारण दर्साई अदालत सचिवको कार्यालयमा बुझाउनुहोला ।

फाराम ५: बिज्ञप्ति (अनुसन्धानको लागि)

२२० ___ स्यो नं. के स

बिज्ञप्ति
(अनुसन्धानको लागि)

लाई ,

बालक:

रक्षक:

बालकको संरक्षण घटनाको बारे मा सोधपूछ गर्ने हुनाले बालक र रक्षक _____ महिना _____ दिन _____ बजे _____ मा यो बिज्ञप्ति पत्र लिएर पारिवारिक अदालतको _____ तल्लामा बालक परीक्षक कहाँ हाजिर हुनुहोला ।

मिति:

पारिवारिक अदालत

पारिवारिक अदालत परीक्षक:

टिप्पणी:

१. सन्.....महिना.....तारिखमा पुलिस स्टेशनले छानबिन गरेको केस हो ।
२. यदि बिरामी भएर या अन्य केहि कारणले अदालतमा उपस्थित हुन नसकेमा सम्बन्धित पारिवारिक अदालत परीक्षकलाई त्यसबारे जानकारी दिनुहोला ।
३. बालक र रक्षकले पारिवारिक अदालत परीक्षकको कार्यालयमा आउने बेलामा.....अवश्य लिएर आउनुहोला ।

पारिवारिक अदालत

फोन.

एकसटे न्सन

書式 6 同行状（緊急）

| | |
|--|--|
| 平成 年 (少) 第 号 | 執行指揮印 |
| <h2 style="margin: 0;">同行状（緊急）</h2> | |
| 少年 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 | |
| 住居 _____ | |
| <p>上記少年の _____ 保護事件について、下記の理由により、少年を当裁判所へ同行する。</p> <p style="text-align: center;">有効期間 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 まで</p> <p style="text-align: center;">この令状は上記期間経過後はその執行に着手することができない。 この場合には本令状を裁判所へ返還しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日</p> <p style="text-align: center;">家庭裁判所 裁 判 官</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>(審判に付すべき事由) _____ 別紙記載のとおり (緊急同行状を発付する理由) _____ 別紙記載のとおり (適条) _____ 少年法 12 条 1 項 (参考)</p> <p>1 予想される少年の立ち回り先 _____</p> <p>2 本同行状は、 _____ 警察署宛に発付</p> | |
| 執行した日時 | 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分 |
| 執行した場所 | _____ |
| 執行することができなかったときはその理由 | _____ ----- _____ |
| 所 属 ・ 官 職 | 氏名 _____ 印 |
| 同行された日時 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分 | |
| 裁判所書記官 | |

फाराम ६: संरक्षण पक्राउ अधिकार पत्र (अत्यावश्यक)

| | | |
|---|--|----------------------|
| २०___ स्यो नं. | | कार्यान्वयनको छाप |
| संरक्षण पक्राउ अधिकार पत्र (अत्यावश्यक) | | |
| बालक: ठे गाना | जन्म मिति: | |
| माथि उल्लेखित बालकलाई संरक्षण घटना अन्तर्गत तल उल्लेखित कारणले बालकलाई संगै यस अदालतमा ल्याइनेछ। | | |
| प्रभावकारी रहने अवधिसन्..... महिना..... तारिख सम्म यो अधिकार पत्र माथि उल्लेखित मिति नाघेम्मसको कार्यान्वयन गर्न सकिनेछैन। न यस्तो अवस्थामा यो अधिकार पत्र अदालतमा फर्काउनु पर्छ। | | |
| मिति: | | |
| पारिवारिक अदालत | | |
| न्यायाधीश: | | |
| सुनुवाईको कारण: अर्को डकुमेन्टमा उल्लेख गरे जस्तै | | |
| संरक्षण पक्राउ अधिकार पत्र (अत्यावश्यक) कार्यान्वयन गर्नुको कारण: अर्को डकुमेन्टमा उल्लेख गरे जस्तै | | |
| उचित भाग: | | |
| बाल कानूनको १२ भागको अनुच्छेद १ | | |
| प्रसंग: | | |
| १. बालक जान सक्ने संभावित स्थान | | |
| २. यो अधिकार पत्र..... पुलिस स्टेशनमा पठाउन सकिने | | |
| कार्यान्वयनको मिति र समय | सन्.....महिना.....तारिखबजे.....मिनेट | |
| कार्यान्वयनको स्थान | | |
| कार्यान्वयन गर्न नसक्त्यसको कारण | | |
| संस्थाको नाम तथा पद | नाम: | छाप |
| बालकलाई अदालतमा ल्याइएको मिति र समय: | | |
| सन्.....महिना.....तारिखबजे.....मिनेट | | |
| अदालत सचिव: छाप | | |

書式 7 観護措置通知書

平成 年 少年第 号 保 護 事 件

観護措置通知書

殿

少年

年 月 日生

上記少年に対する保護事件について、審判を行うための必要上、少年は、平成 年 月 日 少年鑑別所に収容されたから通知する。

平成 年 月 日

家 庭 裁 判 所

裁 判 所 書 記 官

फाराम ७: रोकथाम प्रक्रियाको सूचना

२०___ स्यो नं. बाल अपराध मूद्दा:

रोकथाम प्रक्रियाको सूचना

लाई:

बालकको नाम:

जन्म मिति:

माथि उल्लेखित बालकको सं रक्षायटना सम्बन्धि सुनुवाईको लागि आवश्यकता अनुसार बालकलाई सन्.....महिना.....तारिखदेखि तरुण गृहमा राखिएको सूचित गरिन्छ ।

मिति:

पारिवारिक अदालत

अदालत सचिव

平成

年(少)第

号

付添人選任届

家庭裁判所 御中

少年

に対する

保護事件について

弁護士

を付添人に選任いたしましたから連署の上お

届けいたします。

平成 年 月 日

選任者(少年保護者)

付添人住所

付添人

(注) 選任者()内は該当するものに○印をつける。

फाराम ८: सहायक छनौटको निवेदन

२०___ स्यो नं.

सहायक छनौटको निवेदन

लाई: पारिवारिक अदालत

बालक.....को लागि.....संरक्षक घटनाको
बारे मझकिल.....सहायकको रुपमा छनौट गरेको कुरा
अवगत गर्दछु ।

सन्.....महिना.....तारिख

नियुक्ताकर्ता: बालक / रक्षक

सहायकको ठे गाना

सहायक:

書式 9 付添人選任に関する通知及び照会

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する通知及び照会

少年 殿

保護事件名

あなたの事件では, 慎重に手続きを進めるため, 弁護士である付添人がいなければ審判できません。

あなたやあなたの家族が弁護士である付添人を選任しないときは, 裁判所が弁護士である付添人を選任します。

そこで, 同封した回答書に答えて書いて, 月 日までに 家庭裁判所に着くように送ってください。あなたが少年鑑別所にいるときは, 鑑別所の先生に渡してください。

平成 年 月 日

家庭裁判所 (担当者)

電話 内線 番

फाराम ९: सहायक छनौटको बारेमा सूचना तथा सोधपूछ

(कानून २२ धारा ३ को अनुच्छेद १, नियम ३० धारा ३ को अनुच्छेद १)

२०___ स्यो नं.

सहायक छनौटको बारेमा सूचना तथा सोधपूछ

लाई:

संरक्षण घटना नं.

माथि उल्लेखित घटना अन्तर्गत होशियारपूर्वक प्रक्रिया अघि बढाउनुको लागि वकिलको रूपमा रहे क्लेहायक भएन भने सुनुवाई गर्न सकिन्दैन ।

तिमी या तिम्रो परिवारले वकिलको रूपमा रहे क्लेहायकको छनौट नगरे को खण्डमा अदालतले वकिलको रूपमा रहे को सहायको छनौट गर्ने छ

त्यसको लागि यस बन्द गरिएको जवाफ पत्रमा जवाफ लेखी.....महिना.....भिन्न पारिवारिक अदालतमा पुग्ने गरी पठाउनुहोला । तिमि तरुण गृहमा भएको बेलामा त्यस गृहको शिक्षकलाई बुझाउनुहोला ।

मिति: सन्.....महिना.....तारिख

पारिवारिक अदालत: (अदालत सचिव:)

फोन: (एक्सटे न्सन)

書式 10 付添人選任に関する回答書

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する回答書

家庭裁判所 御中

保護事件について、次のとおり回答します。

※ レ印を付けてください。

- 私か私の家族が弁護士である付添人をつけます
付添人の名前は, (弁護士会) です。
(分かれば書いてください。)
- 裁判所で弁護士である付添人をつけてください。

平成 年 月 日

少年 印

फाराम १०: सहायक छनौट सम्बन्धि जवाफ पत्र
(कानून २२ धारा ३ को अनुच्छेद १, नियम ३० धारा ३ को अनुच्छेद १)
२०____ स्यो नं.

सहायक छनौट सम्बन्धि जवाफ पत्र

लाई: पारिवारिक अदालत

संरक्षण घटनाको बारेमा निम्न बमोजिम जवाफ दिन्छु ।

* सम्बन्धित बक्समा चिन्ह लगाउनुहोला ।

म या मेरो परिवारले वकिलको रूपमा रहे को सहायक कायम राख्छौं
सहायकको नाम.....(वकिल सं)घ...हो ।
(थाहा भएमा लेख्नुहोला ।)

अदालतबाटै वकिलको रूपमा रहेको सहायकको छनौट गर्नुहोस् ।

मिति: सन्.....महिना.....तारिख

बालकको नाम :

छाप

決 定 通 知 書

少 年 少 年 法 第 〇 〇 号 殿

(保護者) 〇 〇 〇 〇 殿

平成 〇 〇 年 〇 月 〇 日

家庭裁判所

裁判所書記官

少年に対する平成 〇 〇 年 第 〇 〇 号 保護事件について
は、調査の結果、本日 裁判官の決定により少年法第 19 条 1 項を適用し、こ
の事件については審判を開始しないで事件を終わらせることになりました。

この決定は、少年自身の自覚により再非行のないことを期待して行われたものですから再
び過ちを犯さないよう心がけてください。

फाराम ११: निर्णयको जानकारी पत्र
२०___ स्यो नं.

निर्णयको जानकारी पत्र

लाई ,

बालक:

रक्षक:

मिति: सन्.....महिना.....तारिख

पारिवारिक अदालत

अदालत सचिव:

बालक सम्बन्धि.....वर्ष स्यो नं.....को संरक्षण घटनाको बारेमा
छानबिनको परिणाम स्वरूप आज.....अदालतको फैसला अनुरूप
बाल कानून १९ धारा १ लागू भई, यो घटना सम्बन्धि सुनुवाई नगरिकन
यो घटनालाई बन्द गर्ने निर्णय भएको छ ।

यो निर्णय बालक आफैको चेतनाबाट फेरि अपराध नगर्ने कुराको आशा
गरेर गरिएको हुनाले फेरि यस्तो भूल नहुने गरि ध्यान पुर्याउनुहोला ।

平成 年 少年第 号

証人召喚状

証人 殿

少年

上記少年に対する 保護事件について、あなたを証人としてお尋ねしますから、来る 月 日 午前 時 分に当裁判所少年審判廷（階）に出頭してください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判官

- 注 1 出頭の際は、印鑑を持参し、この召喚状を差し出してください。出頭したときは、旅費、日当を請求することができます。
- 2 正当な理由がないのに出頭しないときは、勾引されたり、科料又は罰金、もしくは拘留に処せられたりすることがあります。

फाराम १२: साक्षीको लागि बिज्ञप्ति

२०___ स्यो नं.

साक्षीको लागि बिज्ञप्ति

साक्षीलाई :

बालकको नाम :

माथि उल्लेखित बालकको.....संरक्षण घटनाबारे, तिमीलाई

साक्षीको रुपमा सोधपुछ गर्ने हुनाले अब

आउने.....महिना.....तारिख.....बजे.....मिनेटमा यस

अदालतको बाल सुनुवाई हल (.....तल्ला) मा हाजिर हुनुहोला ।

मिति: सन्.....महिना.....तारिख

पारिवारिक अदालत

अदालत सचिव:

नोट १. हाजिर हुने बेलामा आफ्नो छाप र यो बिज्ञप्ति पत्र लिएर आउनु होला । हाजिर भएको बेलामा यातायात खर्च या दैनिक ज्याला दावी गर्न सकिन्छ ।

नोट २. उपयुक्त कारण बिना अनुपस्थित भएमा अनिवार्य रुपमा उपस्थित हुनुपर्ने गर्ने, जरिवाना या कैदमा बस्नुपर्ने अवस्था पनि हुन सक्छ ।

書式 13 証人等整理票

家庭裁判所

| 証人等整理票 | | 平成 | 年 | 月 | 日 |
|--------|---|------|-----|---|---|
| 氏名 | 印 | 事件番号 | 年少第 | 号 | |
| 年齢 | 年号を○で囲んでください。 昭和 年 月 日生 (年) 大正 明治 | 事件名 | | | |
| 職業 | | 少年氏名 | | | |
| 住居 | | 備考 | | | 該当するものを○で囲んでください。 証人 参考人 通訳人 鑑定人 その他 () |
| 旅費日当 | いずれかを○で囲んでください。 請求する 請求しない | | | | |

(注) 1 出頭された方は、この整理票に記入の上、係事務官に提出してください。
2 この整理票は、旅費日当請求書の資料あるいは旅費日当の放棄書として使用しますので、正確に記入してください。

फाराम १३: साक्षी पत्र

| साक्षी पत्र | | मिति: सन्.....महिना.....तारिख | |
|-------------------------------|---|-------------------------------|---|
| नाम | छाप | केस नं | २०___ स्यो नं. |
| उमेर | जन्म मिति: | केसको नाम | |
| पेशा | | बालकको नाम | |
| ठेगाना | | टिप्पणी | एउटामा चिन्ह लगाउनु होला: |
| यातायात खर्च तथा दैनिक ज्याला | (एउटामा चिन्ह लगाउनु होला) मा दावी गर्छु । म दावी गर्दिन । | | साक्षी अनौपचारिक साक्षी अनुवादक न्यायाधिश अन्य () |

नोट १. उपस्थित हुने व्यक्तिले यस पत्रमा लेखी अदालत सचिवलाई बुझाउनुहोला ।

नोट २. यो पत्र यातायात खर्चको दावी गर्ने अफिसियल कागजात भएको हुनाले गल्ती नहुने गरी ठिकसंग भर्नुहोला ।

宣 誓 書

良^り心^{ょう}に^{しん}従^{したが}って、ほんとうの^{もう}ことを申^{もう}します。

知^しっていることをかくしたり、無^ないことを

申^{もう}したりなど、決^{けつ}して致^{いた}しません。

以^い上^{じょう}のとおり誓^{ちか}います。

しやうにん

証 人

फाराम १४: शपथ

शपथ

सद्विवेक अनुसार सत्य कुरा कहन्छु । थाहा पाएको कुरालाई लुकाउने
या नभएको कुरा भन्ने जस्तो काम कहिल्यै गर्दिन । माथि भनेका कुराको
प्रतिज्ञा गर्दछु ।

साक्षी

書式 15 通報の要請に関する照会

通報の要請に関する照会

あなたは、国民として領事関係に関
するウィーン条約第 36 項第 1 項 (b) の規定に基づき、拘禁された事実を
の領事機関に通報することを要請することが
できます。

要請するかどうかを回答書に記入してください。

なお、当該領事機関に対しては、我が国の法令に反しない限り、信書を発
することができます。

裁 判 所

回 答

通報することを 要請します。
 要請しません。

年 月 日

国 名

被拘禁者氏名

裁判所

御中

(注) 不用の文字を抹消すること。

फाराम १५: सन्देश पठाउने आवश्यकता सम्बन्धि विज्ञप्ति

सन्देश पठाउने आवश्यकता सम्बन्धि विज्ञप्ति

तिमी.....नागरिकको रूपमा वाणिज्यदूत सम्बन्धि संबन्धित रहेको भियना सन्धिको धारा ३६ को १ (b) अनुच्छेदको नियममा आधारित रहेर थुनामा राखिएको तथ्य.....को वाणिज्य दूतावासलाई खबर गर्ने कुराको माग गर्न सकिन्छ ।

माग गर्ने हो कि होइन पत्रमा लेख्नुहोला ।

साथै, यस बाणिज्य दूतावासको बारेमा जापानको कानून बिपरित नभएसम्म यस पत्रको आदानप्रदान गर्न सकिन्छ ।

उत्तर

खबर गर्ने कुरा

- (a) माग गर्दछु ।
- (b) माग गर्दिन ।

मिति: सन्.....महिना.....तारिख

देश:

थुनामा राखिएको व्यक्तिको नाम:

पारिवारिक अदालतलाई:

(नोट) अनावश्यक शब्दहरू मेट्नुहोला ।

第 4 編 用語の対訳

第 1 法律関係用語

[あ行]

アリバイ

異議審

異議申立て

意見聴取

意見陳述

移送

移送決定

一時停止

一事不再理の効力

一般事件

一般遵守事項

一般短期処遇

一般保護観察

一般保護事件

居直り強盗

違法収集証拠

違法性

違法性阻却事由

院外委嘱指導

因果関係

淫行

引致

引致状

インテーク

インテーク基準

営利の目的

閲覧

援助

[あ行]

साक्षी

सुनुवाईको विरोध गर्नु

अपिल

सोधपूछ

विचारको बयान

सरुवा

सरुवाको आदेश

अस्थायी बसोबासको प्रक्रिया

दोब्बर खतराको असर

सामान्य घटना

सामान्य अवस्थाको अवलोकनमा दिएको पद

सामान्य छोटो अवधिको कार्यक्रम

सामान्य परिक्षणात्मक प्रबन्ध

सामान्य घटना

चोर जसले अनुसन्धानको क्रममा हिँसा मचाउँछ

गैरकानूनी रुपमा प्राप्त सबूत

गैरकानूनी

गैरकानूनी नकारात्मक तत्व, न्यायसंगत बनाउन

लायक कारण

संस्थाभन्दा बाहिरका स्वयंसेवकलाई यौवन

सम्बन्धि शिक्षा र तालिम दिनु

कारण र असर; कार्यकारण सम्बन्ध

अवैध मेलजोल

सूचित गरेको स्थानमा तर्क गर्नु (प्रतिवादी, प्रत्यक्षदर्शी)

सूचित गरेको स्थानमा तर्कको आज्ञापत्र ल्याउनु (प्रतिवादी, प्रत्यक्षदर्शी)

अंतर्ग्रहण

अंतर्ग्रहणको मापदण्ड

नाफा प्राप्त गर्ने उद्देश्य, नाफा प्राप्तिको अभिलासा

परीक्षण; निरीक्षण

सहयोग

| | |
|----------|---|
| 押印 | छाप |
| 押収 | जफत |
| 押収物 | जफत गरिएका सामान |
| [か行] | [का行] |
| 蓋然的心証 | सम्भावित विश्वास |
| 回避 | थामिनु, न्यायाधिशको छल्ने उपाय |
| 回付 | पठाउनु |
| 開放的な処遇 | खुल्ला आचरण; खुल्ला किसिमको आचरण |
| 確信の程度の心証 | दोष सिद्धिबाट मजबूत विश्वास |
| 確信犯 | कट्टर विश्वासका कारण अपराध (सैदान्तिक सोच , राजनैतिक, धार्मिक इत्यादि) |
| 覚せい剤 | लागूऔषधी |
| 過失 | लापरवाही |
| 過失犯 | अपराधिक लापरबाही |
| 過剰避難 | धेरै आवश्यकता अनुकरण गर्नु; धेरै शक्ति प्रयोग गरेर अगाडिको खतरालाई पन्छ्याउनु |
| 過剰防衛 | धेरै आत्मरक्षा; अनुचित आत्मरक्षा |
| 学校照会 | विधालयको लागि सोधपूछ |
| 学校照会書 | विधालयको लागि सोधपूछ पत्र |
| 仮釈放 | प्रतिज्ञा-वचन; प्रतिज्ञा-वचनमा मुक्त गर्नु |
| 仮収容 | सामायिक रोकावट |
| 仮退院 | यौवनसम्बन्धी विधालयमा तालिमबाट प्रतिज्ञा-वचनमा मुक्त गर्नु, प्रतिज्ञा-वचनमा मुक्त गर्नु |
| 簡易送致 | घटनाको बारेमा पठाउने संक्षिप्त तरिका |
| 簡易の呼出 | अड्डामा हाजिर हुन संक्षिप्त आदेश |
| 管轄 | न्यायालय |
| 環境調整 | वातावारणीय सुधार |
| 環境調整の措置 | वातावारणीय सुधारको नाप गर्ने सम्बन्ध |
| 環境調整命令 | वातावारणीय सुधारको समाज व्यवस्था गर्ने सम्बन्ध |
| 勧告 | सल्लाह |
| 観護措置 | रोकावट परिधि, बाल अपराधी अवरोधलाई रक्षा गर्ने, रोकावट र रक्षस्थल |
| 観護措置決定 | रोकावट परिधिको फैसला |

| | |
|------------|--|
| 觀護令状 | कैदखाना रोकावटको प्रतिनिधि आज्ञापत्र |
| 觀察 | निरीक्षण |
| 鑑定 | दक्ष साक्षी |
| 鑑定人 | विशेषज्ञ |
| 鑑定留置 | दक्ष परिक्षणबाट थुनिएको अवस्था |
| 還付 | फिर्ता |
| 鑑別結果 | वर्गीकरणको परिणाम, मानसिक र शारीरिक परिक्षण को परिणाम |
| 鑑別結果通知書 | विशेषज्ञको विचार वर्गीकरण, पूर्वी परिक्षणको वर्गीकरणको प्रतिवेदन |
| 期間 | अवधि; मर्यादा |
| 棄却 | पदत्याग |
| 危險性の予測 | भविष्यमा हुने बाल अपराधलाई सम्भावनात्मक भविष्यवाणी गर्नु |
| 期日 | मिति |
| 既遂 | अपराधको पूर्ण परिमाणको दस्तुरी; सिध्याउनु |
| 偽造 | जालसाजी; झूठो पार्ने काम |
| 既判力 | झगडाको असर अघिल्लिर निकाल्नु |
| 忌避 | चुनौति; अयोग्यता |
| 却下 | खारेज |
| 凶悪犯 | पातकी अपराधी |
| 教科教育 | निर्दिष्ट शिक्षा |
| 教科指導 | विषय अध्यापन |
| 凶器 | हतियार |
| 教唆 | प्रोत्साहन; याचना |
| 矯正教育 | सुधारात्मक शिक्षा |
| 強制送還 | निर्वासन |
| 強制退去 | निर्वासन |
| 強制調査 | अनिवार्य अनुसन्धान |
| 強制的措置 | अनिवार्य नाप |
| 強制的措置許可決定 | अनिवार्य नाप स्वीकार गर्ने फैसला |
| 強制的措置不許可決定 | अनिवार्य नाप अस्वीकार गर्ने फैसला |
| 共犯 | जटिलता |
| 共犯者 | मतियार; सअपराधी |
| 共謀 | षडयन्त्र; ठक्कर; गुप्ती कुरा |
| 協力 | सहयोग |

| | |
|---------|--|
| 居所 | वासस्थान |
| 緊急同行状 | आज्ञा पत्रको छिटो अनुचरण गर्नु; बाल अपराधीलाई आज्ञा पत्रका साथ छिटो अदालतमा लैजाने |
| 緊急避難 | डरलाग्दो खतरालाई पन्छ्याउने; आकस्मिक आश्रय |
| 禁制品 | निषेधित बस्तु |
| 国親 | कानूनी अभिभावक |
| 国親思想 | कानूनी अभिभावकको विचार |
| ◁犯 | पूर्व कुकर्म; अपराधको स्थिति |
| ◁犯事由 | पूर्व कुकर्मको कारण; कानूनले खास उल्लेख गरेको नराम्रो बानी व्यहोरा |
| ◁犯少年 | बाल अपराधीको पूर्व कुकर्म; अपराधीको स्थिति; बाल अपराधी जसले अधोमुख स्थितिलाई जिम्मा दिनु |
| ◁犯性 | पूर्व कुकर्मको स्वभाव |
| 訓戒 | अर्ती |
| 刑事事件 | अपराधी घटना |
| 刑事施設 | व्यक्तिगत संस्था |
| 刑事処分相当 | उचित अपराधीक स्वभाव |
| 刑事責任年齢 | अपराधीक उत्तरदायित्वलाई उमेर योग्य कल्पना गर्नु |
| 軽微事件 | मामूली घटना |
| 刑法犯 | दण्डनीय धर्मसंहिता अपराध |
| 決定 | फैसला |
| 決定書 | लिखित फैसला |
| 決定書の送達 | लिखित फैसलाको सेवा; लिखित फैसला पठाउनु |
| 決定の執行 | विधानको फैसला |
| 決定の通知 | फैसलाको सूचना |
| 検察官関与決定 | घटनाको फैसलामा नालिशलाई पनि मुछ्नु |
| 検察官送致決定 | घटनाको फैसला सार्वजनिक नालिश कार्यालयमा पठाउनु |
| 検証 | निरीक्षण |
| 故意 | अरुको अहित गर्ने इच्छा, इरादा |
| 合議体 | तीन न्यायाधीश चौकोस |
| 公共の福祉 | सार्वजनिक उन्नति |
| 拘禁 | वन्धन; रोकावट; कैद |
| 後見人 | अभिभावक |

| | |
|------------|---|
| 抗告 | पुनर्विचार; नालिश; उजूरी |
| 抗告受理決定 | पुनर्विचारको फैसला स्वीकार गर्नु |
| 抗告受理申立て | पुनर्विचारको दरखास्तको अपिल |
| 抗告審 | नाम नामासीको उदाहरण |
| 抗告の趣意 | पुनर्विचारको कारण |
| 抗告の申立て | पुनर्विचारको निवेदन |
| 抗告の申立書 | पुनर्विचारको वक्तव्य |
| 抗告不受理決定 | पुनर्विचारको फैसला बर्खास्त गर्नु |
| 更新 | पुनर्नवीकरण |
| 更新決定 | पुनर्नवीकरणको फैसला |
| 更生 | पहिलो स्थिति |
| 更正 | दुरुस्ती |
| 更正決定 | दुरुस्तीको फैसला |
| 公訴 | सामाजिक कानूनी कारवाही; सामाजिक कार्य |
| 公訴の提起 | कानूनी कारवाही गर्ने संस्था, सामाजिक कार्य गर्ने संस्था |
| 交通事件 | लेनदेन भंग गर्ने घटना |
| 交通切符 | लेनदेनको टिकट |
| 交通切符制度 | लेनदेनको टिकटको प्रणाली |
| 交通短期保護觀察 | बाल अपराधीलाई लेनदेनको दोषीमा छोटो अवधिको लागि परिक्षमाण देखरेखमा राखिन्छ |
| 交通反則通告制度 | लेनदेन भंगको सूचना निकाय |
| 交通保護觀察 | बाल अपराधीलाई लेनदेनको दोषीमा परिक्षमाण देखरेखमा राखिन्छ |
| 勾留 | कारागार रोकावोट; रोकावोट |
| 勾留状 | कारागार रोकावोटको आज्ञापत्र |
| 勾留に代わる觀護措置 | कारागार रोकावोटको प्रतिनिधिलाई रोकावोटको मापन |
| 勾留理由開示 | प्रकाशन रहष्यको कारणबाट कारागार रोकावोट |
| 国籍 | राष्ट्रियता |
| 国選付添人 | अदालतले नियुक्त गरेको नोकर; आधिकारिक नोकर |
| 国選弁護人 | अदालतले नियुक्त गरेको परामर्श प्रतिरक्षा; सार्वजनिक परामर्शको प्रतिरक्षा |
| 告知 | सूचना; जानकारी; सल्लाह |
| 告知調所 | किशोरका लागि वक्तव्य कथनको रेकर्ड |

国法上の裁判所
国家賠償
個別処遇の原則

[さ行]

在院者

再抗告

再審

在宅鑑別

裁判官の回避

裁判権

裁判長

酒酔い

差戻し

差戻後の審判

参考人

事案軽微

死刑

試験観察

試験観察決定

事件記録

事件の再起

事件の調査

事後審

事実審理の結果

自首

施設送致申請

施設送致申請事件

私選付添人

執行

執行機関

執行指揮

執行指揮書

執行のための同行状

執行の停止

अदालतमा राष्ट्रिय कानूनकोअर्थ
राज्यको निवारण गर्ने
एकलोपनको मुख्य उपचार नियम

[संख]

सहभासी

पुनर्विचारको प्राथना

पुनारपरीक्षण; नया कामको तरिका; घटनाको तरिका

घरमा किशोर बर्गिकरण

न्यायाधीशको संयम

निर्णयाधिकार

प्रमुख न्यायाधीश

नशा

फेरि पठाउनु

फेरि अर्को सुनुवाई

साक्षी

सामान्य घटना

मृत्युदण्ड

प्रयोगात्मक परिक्षा पर्यवेक्षण (पारिवारिक

अदालत परीक्षक); परिक्षा पर्यवेक्षण

परिक्षा देखरेखको प्रयोगात्मक आदेश

घटनाको रेकर्ड

घटना पुनरावृत्ति

घटनाको छानबिन

करोत्तर परिक्षाको न्याय या निर्णय

बास्तबमा फेला कार्यवाहीको परिणाम या परीक्षण

आत्मसमर्पण

संस्थाको गतिको प्रेषण

घटनामा आधारित संस्थाको गतिको प्रेषण

निजी परिचर खुलिरहेको

कार्यान्वयन

कार्यकारी अंग

आदेशको कार्यान्वयन

कार्यान्वयनको आज्ञा पत्र

आज्ञा पत्रको कार्यान्वयनमा अनुचर गर्नु

कार्यान्वयन निलम्बन गर्नु

指導監督

児童自立支援施設送致決定

児童相談所長への送致決定

児童養護施設送致決定

自白

司法

司法的機能

社会記録

社会貢献活動

社会資源

社会適応性

社会生活

社会内処遇

社会調査

社会防衛

社会防衛思想

終局処分

住居

住所

自由心証主義

重大な事実誤認

集団講習

集団処遇

収容区分

収容継続

収容継続決定

収容継続申請

収容継続申請事件

受命裁判官

準抗告

遵守事項

遵守事項違反

निर्देशक

निर्णय स्वयम धान्ने क्षमता विकासका लागि एक समर्थन सुबिधा एक किशोर समिति

एउटा बच्चा मार्गदर्शन केन्द्रको मुख्य मामला पठाउने निर्णय

बालबालिकाको घर एक किशोर समिति निर्णय

कबुल

न्याय

न्यायिक कार्य

सामाजिक रेकर्ड

सामाजिक योगदान क्रियाकलाप

सामाजिक स्रोत

सामाजिक समायोजन

सामाजिक जीवन

गैर संस्थाको व्यवहार; सामुदायिक व्यवहारमा आधारित

सामाजिक छानबिन

सामाजिक रक्षा

सामाजिक रक्षाको विचार

अन्तिम स्वभाव

निवास; अधिवास

ठेगाना

प्रमाण मुक्त मूल्यांकनको सिद्धान्त; विश्वासको स्वतन्त्रताको सिद्धान्त

ठूलो तथ्यको गल्ती

समूह व्याख्यान

समूह उपचार

वर्गीकरणमा रोकावोट

रक्षाको सिलसिला; प्रेषणको सिलसिला

वर्गीकरणमा रोकावोटको आज्ञा पत्र

दरखास्तमा सम्बन्धित सुरक्षा

घटनाको दरखास्तमा सम्बन्धित सुरक्षा

अधिकार प्राप्त न्यायाधीश

आधा उजूर

निरीक्षण गर्ने तरिका; नियम

हिंसाको निरीक्षण गर्ने तरिका

| | |
|--------------|--|
| 準少年保護事件 | प्राय बाल अधिकारका घटनाहरु |
| 証言 | प्रमाण पत्र |
| 証拠 | प्रमाण |
| 証拠調べ | परिक्षाको प्रमाण |
| 証拠法則 | प्रमाणका नियमहरु |
| 小舎制 | थोरै संख्याका बच्चाहरु मात्र आवासीय एकाईमा प्रतिबद्ध भएका रिति छ । |
| | साक्षी |
| 証人 | मृत्युका साक्षी |
| 証人尋問 | सहि प्रमाणका साक्षी |
| 証人尋問権 | साक्षी र अन्यहरुका खर्चहरु |
| 証人等の費用 | बाल |
| 少年 | किशोर प्रशिक्षण विधालयमा एक किशोर समिति |
| 少年院送致 | किशोर प्रशिक्षण विधालयमा एक किशोर समिति |
| 少年院送致決定 | निर्णय |
| | किशोर वर्गीकरण घरमा थुनाको अस्थायी |
| 少年鑑別所収容の一時継続 | सिलसिला |
| | किशोर बढ्नु |
| 少年審判 | किशोर बढ्नुका प्रक्रिया |
| 少年審判手続 | सामाजिक अनुसन्धानका रेकर्ड |
| 少年調査記録 | सामाजिक अनुसन्धानका रिपोर्ट |
| 少年調査票 | किशोरका अपराधिक घटना |
| 少年の刑事事件 | किशोरको ध्वनि र स्वास्थ्यकर विकास |
| 少年の健全な育成 | बाल अधिकारका घटनाहरु |
| 少年の保護事件 | किशोरका कुकर्महरु |
| 少年非行 | किशोर मामिला |
| 少年保護事件 | किशोर क्षतिपूर्ति |
| 少年補償 | किशोर क्षतिपूर्ति घटना |
| 少年補償事件 | आंशिक प्रतिलिपि, सार |
| 抄本 | प्रमाणपत्र |
| 証明書 | उपचारका विषयमा सिफारिस |
| 処遇勧告 | व्यावसायिक सुझाव |
| 職業指導 | व्यावसायिक तालिम |
| 職業補導 | पद रहेसम्म रहने सिद्धान्त; अन्वेषण सम्बन्धि |
| 職権主義 | सिद्धान्त |
| | पद रहेसम्म रहने संरचना जो अन्तर्गत अदालत |
| 職権主義的審問構造 | |

| | |
|-----------|--|
| 触法少年 | आचरण, छानबिन र सुनुवाई हुने आरोप उमेर १४ वर्ष मुनिका किशोर कुनै पनि अपराधिक व्यवस्था अध्यादेशका रुपमा उल्लङ्घन गर्ने |
| 所在不明 | बेपत्ता |
| 除斥 | एक मामला न्यायाधीशको वैधानिक बहिष्करण |
| 処断刑 | दण्ड वृद्धि र व्यवस्था वा शक्ति घटाउने परिस्थितिद्वारा कम गर्नु |
| 処分の著しい不当 | यो शिक्षापद उपायको उल्लेखनीय असभ्यता |
| 親権 | अभिभावकको अधिकार |
| 親権行使 | अभिभावकको अधिकारको अभ्यास |
| 親権尊重 | अभिभावकको अधिकार आदर |
| 人権尊重 | मानव अधिकार आदर |
| 人権保護 | मानव अधिकार संरक्षण |
| 人権保障 | मानव अधिकार सुरक्षित राख्ने |
| 身上調査表 | व्यक्तिगत मामिलाको छानबिन प्रतिबेदन; वर्गीकरण सारांश |
| 心身鑑別 | मानसिक र शारिरीक परीक्षा |
| 身体の自由の拘束 | शारिरीक स्वतन्त्रतामा बन्देज |
| 人定質問 | व्यक्तिगत पहिचान प्रश्न |
| 審判 | सुनुवाई |
| 審判開始決定 | सुनुवाई गर्न अगाडी बढ्ने; सुनुवाईको थालनीको अर्डर |
| 審判権 | सुनुवाईको अधिकार |
| 審判不開始決定 | नसुनिकनै सुनुवाई बन्द गर्ने निर्णय |
| 審判期日 | सुनुवाईको मिति |
| 審判期日通知書 | सुनुवाईको लागि मिति सूचना |
| 審判結果通知 | सुनुवाईको परिणामको जानकारी |
| 審判条件 | सुनुवाईको लागि आवश्यक अवस्था |
| 審判状況説明 | सुनुवाईको अवस्थाको व्याख्या |
| 審判調書 | सुनुवाईको सन्धि पत्र; सुनुवाईको रेकर्ड |
| 審判廷 | अदालत सुनुवाई |
| 審判に付すべき少年 | सुनुवाईको विषयको रुपमा रहेको बालक |
| 審判の併合 | सुनुवाईमा सामेल; सम्मिलित सुनुवाई |
| 審判非公開 | सुनुवाईको गैर प्रचार |
| 審判傍聴 | फैसलाको सुनुवाई |

| | |
|----------|--|
| 性格の矯正 | चरित्र सुधार |
| 生活指導 | शिक्षापद निर्देशन |
| 成人 | वयशक |
| 正当防衛 | आत्म रक्षा; कानूनी रक्षा |
| 正本 | प्रमाणित प्रतिलिपि |
| 責任 | जिम्मेवारी |
| 責任能力 | जिम्मेवारी क्षमता |
| 接見交通権 | प्रतिवादीसंग साक्षात्कारको अधिकार वा थुनामा शंका गर्नु; भ्रमण र संचारको अधिकार |
| 接見の禁止 | थुनामा प्रतिवादी वा संदीग्धसंग साक्षात्कारको निषेध |
| 接見の制限 | थुनामा प्रतिवादी वा संदीग्धसंग साक्षात्कारको प्रतिबन्ध |
| 宣誓 | सपथ |
| 専門的知識の活用 | प्राविधिक ज्ञानको व्यावहारिक प्रयोग; प्राविधिक ज्ञानको उपयोग |
| 全件送致主義 | व्यवस्था जो अन्तर्गत न्यायिक प्रहरी अधिकारीहरू वा सार्वजनिक अभियोजनका किशोर |
| 捜査 | अनुसन्धान |
| 捜査機関 | अनुसन्धान संस्था |
| 搜索 | खोज |
| 送致 | प्रतिबद्धता; पठाउने; सान्दर्भिक |
| 訴訟法上の裁判所 | प्रक्रियागत कानूनको अर्थमा अदालत |
| 粗暴犯 | जघन्य अपराध |
| 損害 | क्षति |
| 損害賠償 | क्षतिपूर्ति |
| [た行] | [त行] |
| 体育指導 | शारीरिक निर्देशन |
| 退院 | रिहा |
| 逮捕 | गिरफ्तार |
| 知事への送致決定 | कार्यकाल राज्यपालका निर्णय मामला पठाउने |
| 中間少年 | मध्य उमेरका किशोर समूह (१६ र १७ वर्ष); मध्य तरुण अवस्था |
| 長期の処遇 | दीर्घकालीन कार्यक्रम |
| 調査 | अनुसन्धान |

| | |
|--------|--|
| 調査官 | पारिवारिक अदालत परीक्षक |
| 調査命令 | सामाजिक छानबिनका लागि आदेश |
| 調査報告書 | किशोरको सामाजिक छानबिन प्रतिवेदन |
| 直送事件 | न्यायिक प्रहरी अधिकारीले मामला हरु सिधा पारिवारिक अदालतमा पठाउँछ |
| 陳述録取書 | कथनको रेकर्ड |
| 陳述録取調書 | कथनको रेकर्ड |
| 通行禁止 | प्रवेश निषेध |
| 通行区分 | निकास क्षेत्र |
| 通告 | सूचना |
| 通訳 | अनुवाद |
| 通訳人 | अनुवादक |
| 付添人 | सहायक |
| 付添人の選任 | सहायक छनोट |
| 連戻し | भगुवालार्ई फिर्ता ल्याउनु |
| 連戻状 | भगुवालार्ई फिर्ता ल्याउने आज्ञापत्र |
| 適正手続 | कानूनको मनासिब तरिका |
| 伝聞証拠 | सुनेको तर नदेखेको गवाही |
| 伝聞法則 | सुनेको तर नदेखेको नियम |
| 同行 | अनुचर, अदालतसम्म साथ लाग्नु |
| 同行状 | अनुचरको आज्ञापत्र, किशोरलाई अदालत लाने आज्ञापत्र, उपस्थितिको आज्ञापत्र |
| 動向視察 | किशोर जो निरीक्षण अवस्थाको निमित्त शिक्षा सम्बन्धि मापनमा राखेको छ |
| 謄写 | नक्कल |
| 謄本 | सक्कल |
| 道路交通事件 | ट्राफिक नियम उलंघन |
| 特別活動指導 | विशेष क्रियाकलापको निर्देशन |
| 特別遵守事項 | विशेष अवस्थाको निरीक्षण गर्नु |
| 特別法犯 | अपराधको विशेष कानून |
| [な行] | [な行] |
| 任意調査 | स्वेच्छित अनुसन्धान |
| 任意同行 | स्वेच्छित अनुचर |
| 年少少年 | तल्लो उमेरका किशोर समूह (१४ र १५ वर्ष); बाल |

| | |
|------------|---|
| 年長少年 | अवस्था माथिल्लो उमेरका किशोर समूह (१८ र १९ वर्ष); तरुण अवस्था |
| 年齡超過 | धेरै उमेर |
| 〔は行〕 | 〔は行〕 |
| 犯罪 | अपराध |
| 犯罪少年 | बालअपराध |
| 犯罪の嫌疑 | अविश्वासका अवस्था |
| 反対尋問 | निरीक्षण |
| 反対尋問権 | निरीक्षणको अधिकार |
| 被害者 | पीडित |
| 被害者調査 | पिडित पक्षको सुनुवाई |
| 非行 | कुकर्म |
| 非行事実 | कुकर्मको बारेमा उल्लेख गरिएको तथ्य गठन |
| 非行事実存在の蓋然性 | कुकर्मको बारेमा उल्लेख गरिएको तथ्य गठनको अस्तित्वको सम्भावना |
| 非行事実の告知 | कुकर्मको बारेमा उल्लेख गरिएको तथ्य गठनको जानकारी |
| 非行事実の認否 | कुकर्मको स्विकृति/गैर स्विकृति |
| 非行性 | कुकर्म प्रतिको बारम्बारको झुकाव |
| 非行なし | किशोरद्वारा कुनै पनि कुकर्मो व्यवहार नगरिएको; गैर कुकर्मो निष्कर्ष |
| 非常上告 | राहतका लागि असाधारण उजुर |
| 否認 | इन्कार; अनुमोदन |
| 否認事件 | इन्कार गरिएको केस; मामला |
| 秘密性 | गोप्यता |
| 不告不理の原則 | अभियोजन बिना कुनै तोकको सिद्धान्त |
| 不処分 | सुनुवाई पछि खारेज |
| 不処分決定 | सुनुवाई पछि खारेजको निर्णय |
| 不定期刑 | अविरल वाक्य; अनवरत वाक्य |
| 不服申立て | असन्तुष्टिको उजुर; आपतको उजुरी; आपत्तिको आवेदन |
| 不利益変更禁止 | अभियुक्तको बेफाइदा गर्ने परिवर्तन बिरुद्ध निषेधाज्ञा |
| 分類処遇 | वर्गीकरण अनुसार उपचार |

| | |
|--------------|--|
| 併合審判 | संयुक्त सुनुवाई |
| 弁解 | बयान |
| 弁解の聴取 | बयानको सुनुवाई |
| 変更の申出 | संशोधनको लागि आवेदन |
| 弁護士 | वकिल |
| 弁護人 | रक्षाका सल्लाहकार |
| 保安処分 | सुरक्षा मापन |
| 報告 | प्रतिवेदन |
| 法廷遵守事項 | कोर्टको नियम पालना गर्न निर्धारित कुराहरु |
| 法定代理人 | कानूनी प्रतिनिधि |
| 法的調査 | कानूनी छानबिन |
| 法律記録 | कानूनी रेकर्ड |
| 保護観察 | परिबिक्षाधीन पर्यवेक्षण; जमानीमा पर्यवेक्षण |
| 保護者 | संरक्षक |
| 保護処分 | शिक्षापद उपाय; सुरक्षित उपाय |
| 保護処分取消決定 | शिक्षापद उपायको फिर्ताको निर्णय; मामला निपटानको निर्णय रद्द |
| 保護処分取消事件 | शिक्षापद उपायको फिर्ताको मामला |
| 保護処分の競合 | शिक्षापद परिधिको संयुक्त काम |
| 保護処分の取消し | शिक्षापद परिधिको खारेज |
| 教育的措置(保護的措置) | शिक्षापद कार्य |
| 没取 | दण्ड |
| 没取決定 | दण्डको निर्णय |
| 没取に係る物の返付 | जफत बस्तुहरुको फिर्ता |
| 補充捜査 | पूरक छानबिन |
| 補償の払渡し | क्षतिपूर्तिको भुक्तानी |
| 補導委託 | बाल मार्गदर्शनको प्रतिबद्धता; प्रतिपादनको बाल निर्देशन |
| 補導委託先 | बाल मार्गदर्शनको जिम्मा लिने संस्था |
| 補導委託費 | बाल मार्गदर्शनको जिम्मा शुल्क |
| 補導援護 | मार्गदर्शन र सहयोग |
| 本籍照会 | कानूनीरूपमा वासस्थानको सोधपूछ |
| 本籍照会書 | कानूनीरूपमा वासस्थानको सोधपूछ पत्र |
| 翻訳 | अनुवाद |
| 翻訳人 | अनुवादक |

[ま行]

身柄付送致

みなし勾留

無職の者

無断外出

面前告知

申出

申出人

黙秘権

黙秘権の告知

戻し收容

戻し收容決定

戻し收容処分

戻し收容申請事件

[や行]

有職の者

有責性

要保護性

余罪

余罪捜査

呼出

呼出状

[ら行]

留置施設

労役場留置

[ま行]

बालकलाई बन्देजमा राखी केस सहित पारिवारिक अदालतमा बुझाउनु

तरुण गृहमा बन्दी बनाएर राखेको अवस्थालाई पनि थुनामा राखे सरह मानिएको

बेरोजगार

अनुमति बिना बाहिर जानु

किशोरको उपस्थितिको सूचना

निवेदन

निवेदक

मौन बस्ने अधिकार

मौन बस्ने अधिकारको घोषणा

पुनर्बन्धन

पुनर्बन्धनको लागि निर्णय

पुनर्बन्धनको सजाय

पुनर्बन्धन निवेदन घटना

[या行]

कार्यरत

अपराधी

शिक्षापद उपायको आवश्यकता; सुरक्षाको आवश्यकता

आरोप नलागेको अपराध

आरोप नलागेको अपराधको अनुसन्धान

बिज्ञप्ति

बिज्ञप्ति पत्र

[रा行]

थुना सुबिधा

कार्यस्थलमा रहेको थुना

第 2 調査関係用語

[あ行]

家出

居心地

遺伝

姻族

[अ行]

घरबाट भाग्नु

आरामदायक

वंशाणू

आफन्त

[か行]

カウンセリング

家族関係

家長

家庭内暴力

義務教育

虐待

血族

高等学校(高校)

行動傾向

公立

危険ドラッグ(脱法ハーブ)

[का行]

परामर्श

पारिवारिक सम्बन्ध

घरमूली

घरेलु हिंसा

अनिवार्य शिक्षा

दुर्व्यवहार, क्रूर उपचार

रक्तनाता

माध्यमिक विधालय

व्यावहारिक झुकाव

सरकारी

खतरनाक औषधि

[さ行]

しつけ

社会奉仕活動

照会書

小学校

上司

職種

私立

信条

親族

心理テスト

住込み

生活史

生活費

成績

[सि行]

अनुशासन

समाज सेवा क्रियाकलाप

सोधपूछ पत्र

प्राथमिक विधालय

उच्च; उच्च पदको कर्मचारी; हाकिम

कामको प्रकार, काम वर्गीकरण

निजी

विश्वास

नातेदार

मनोवैज्ञानिक परीक्षण

बस्नु

जीवन इतिहास; घटना इतिहास

जीवन खर्च

रेकर्ड

性的虐待
生理
専門学校
送金
相談相手

〔た行〕

退学
大学
怠休
短所
中学校
長所
通勤
手続
手取り
転居
転校
転職
動機
同棲
同僚
特技

〔な行〕

仲
肉体関係
入学

〔は行〕

配偶者
背景
売春
父系
不純異性交遊
扶養

बलात्कार
रजस्वला
व्यावसायिक विधालय
रेमिटेन्स
सल्लाहकार

〔た行〕

विधालय छोड्नु
कलेज
अल्छी
दोष; कमजोर तत्व
निम्न माध्यमिक विधालय
योग्य; बलियो तत्व
यातायात
प्रक्रिया
घर लान पाउने आम्दानी, कुल आम्दानी
ठेगाना परिवर्तन
विधालय परिवर्तन
पेशा परिवर्तन
प्रेरणा
सहवास; संगै बस्ने
सहपाठी
विशेष क्षमता वा प्रतिभा

〔な行〕

सम्बन्ध
शारीरिक सम्बन्ध
विधालयमा भर्ना

〔は行〕

परिवार
पृष्ठभूमि
देहव्यापार
बाबु पट्टिको
केटा र केटीबीचको अस्वस्थ सम्बन्ध
समर्थन; मर्मत

扶養家族

保育所

母系

[ま行]

身元引受人

面接

[や行]

役割

幼少

幼稚園

[ら行]

離婚

労働条件

निर्भर

नर्सरी; दैनिक हेरविचार केन्द्र

आमा पट्टिको

[ま行]

जिम्मेवार; प्रतिभूत

अन्तर्वार्ता

[や行]

भूमिका

बाल अवस्था

नर्सरी

[ら行]

पारपाचुके

श्रम अवस्था; कामको अवस्था

第 3 官庁等諸機関名

[あ行]

医務室
医務室技官
受付

[か行]

海上保安庁
外務省
科学調査室
家庭裁判所
家庭裁判所支部
家庭裁判所調査官(調査官)
家庭裁判所調査官室
簡易裁判所
矯正管区
矯正管区長
矯正局
区
区検察庁
警察
警察官
警察署
警察職員
警察署の保護室
警察庁
警察庁次長
警察庁長官
警視
警視監
警視正
警視総監
警視庁
警視長
警部

[あ行]

メジカル अफिस
मेडिकल अफिसर
रिसेप्सन; सोधपूछ

[か行]

जापान समुद्र रक्षक विभाग
परराष्ट्र मन्त्रालय
मनोवैज्ञानिक अनुसन्धान शाखा
पारिवारिक अदालत
पारिवारिक अदालतको शाखा कार्यालय
पारिवारिक अदालत परीक्षक
पारिवारिक अदालत परीक्षक कार्यालय
समिक्षा अदालत
क्षेत्रीय सुधार मुख्यालय
क्षेत्रीय सुधार मुख्यालय प्रमुख
सुधार व्यूरो
वडा; स्थानीय जिल्ला
स्थानीय अभियोक्ताको कार्यालय
पुलिस
पुलिस अफिसर
पुलिस स्टेसन
पुलिस कर्मचारी
पुलिस स्टेसनको थुना कोठा
राष्ट्रिय प्रहरी एजेन्सी
राष्ट्रिय प्रहरी एजेन्सी उप प्रमुख
राष्ट्रिय प्रहरी एजेन्सी प्रमुख
अधिक्षक, निरीक्षक
निरीक्षक पर्यवेक्षक
बरिष्ठ निरीक्षक
सामान्य निरीक्षक
महानगरीय प्रहरी विभाग
प्रमुख निरीक्षक
प्रहरी निरीक्षक

| | |
|----------|---|
| 警部補 | सहायक प्रहरी निरीक्षक |
| 刑務官 | जेल अधिकारी, जेल आधिकारिक |
| 刑務所 | कारागार |
| 刑務所長 | कारागार प्रमुख |
| 県 | प्रिफेक्चर |
| 県警察本部 | प्रिफेक्चर पुलिस प्रमुख कार्यालय |
| 検察 | सार्वजनिक अभियोक्ता |
| 検察官 | अभियोक्ता |
| 検察事務官 | सार्वजनिक अभियोक्ताको सहायक अधिकारी |
| 検察庁 | सार्वजनिक अभियोक्ताको कार्यालय |
| 検事 | सार्वजनिक अभियोजक |
| 検事正 | प्रमुख अभियोजक |
| 検事総長 | सामान्य अभियोजक |
| 検事長 | मुद्दा चलाउने अभियोजक |
| 公使 | मन्त्री |
| 厚生労働省 | समाज कल्याण तथा श्रम मन्त्रालय |
| 更正保護会 | पुनर्स्थापना सहयोग समाज |
| 更正保護婦人会 | पुनर्स्थापना सहयोग महिला समाज |
| 拘置所 | जेल, काराकार |
| 高等検察庁 | उच्च सार्वजनिक मुद्दा चलाउने अभियोजकको कार्यालय |
| 高等裁判所 | उच्च अदालत |
| 高等裁判所長官 | उच्च अदालत प्रमुख |
| 〔さ行〕 | 〔さ行〕 |
| 最高検察庁 | सर्वोच्च सार्वजनिक अभियोजकको कार्यालय |
| 最高裁判所 | सर्वोच्च अदालत |
| 最高裁判所長官 | सर्वोच्च अदालत प्रमुख |
| 最高裁判所裁判官 | सर्वोच्च अदालत न्यायाधीश |
| 裁判官 | न्यायाधीश |
| 裁判所事務官 | अदालत अधिकृत |
| 裁判所書記官 | अदालत सचिव |
| 裁判長 | अदालत प्रमुख |
| 市 | शहर |
| 次長検事 | उप सामान्य अभियोजक |
| 児童委員 | बाल कल्याण कर्मचारी |

兒童自立支援施設
兒童相談所
兒童相談所長
兒童福祉司
兒童養護施設
司法警察員
司法警察職員
司法巡查
巡查
巡查長
巡查部長
少年院
少年鑑別所
少年刑務所
書記官室
人權擁護局
審判官
審判廷
税関

[た行]

第1種少年院
大使
大使館
第3種少年院
第2種少年院
第4種少年院
知事(都道府県知事)
地方検察庁
地方検察庁支部
地方更正保護委員会
地方裁判所
地方裁判所支部
地方法務局
中央更正保護審査会
調査官(家庭裁判所調査官)

बालबालिकाको आत्मसमर्थन केन्द्र
बाल मार्गदर्शन केन्द्र
बाल मार्गदर्शन केन्द्र प्रमुख
बाल कल्याण अधिकारी
अनाथालय
न्यायिक प्रहरी अधिकारी
न्यायिक प्रहरी अधिकारीक
न्यायिक प्रहरी कन्स्टेबल
प्रहरी कन्स्टेबल
बरिष्ठ प्रहरी
प्रहरी सर्जेन्ट
तरुण गृह
तरुण वर्गीकरण गृह
बाल कारागार
अदालत सचिव कोठा
नागरिक स्वतन्त्रता व्यूरो
न्यायाधीश
रेफ्री न्यायाधीकरण
भन्सार

[た行]

पहिलो प्रकारको तरुण गृह
राजदूत
राजदूताबास
तेस्रो प्रकारको तरुण गृह
दोस्रो प्रकारको तरुण गृह
चौथो प्रकारको तरुण गृह
नगर प्रमुख
जिल्ला सार्वजनिक अभियोजन कार्यालय
जिल्ला सार्वजनिक अभियोजन कार्यालय शाखा
स्थानीय सुरक्षा संरक्षण समिति
जिल्ला अदालत
जिल्ला अदालतको शाखा कार्यालय
जिल्ला कानूनी मामिला व्यूरो
केन्द्रीय शुद्धीकरण सुरक्षा समिति
पारिवारिक अदालत परीक्षक

[な行]

入国管理局
入国管理事務所
入国管理局出張所
入国者収容所

[は行]

判事
判事補
福祉事務所
法務技官
法務教官
法務省
保護局
保護観察官
保護観察所
保護観察所長
保護区
保護司
補導委託先

[ら行]

領事
領事館

[な行]

अध्यागमन व्यूरो
अध्यागमन कार्यालय
अध्यागमन व्यूरो शाखा
अध्यागमन थुना

[は行]

न्यायाधीश
सहायक न्यायाधीश
कल्याण कार्यालय
कानूनी प्राविधिक अधिकारी
कानूनी प्रशिक्षक
न्याय मन्त्रालय
पूनर्वास व्यूरो
परिविक्षाधीन अधिकारी
परिविक्षाधीन कार्यालय
परिविक्षाधीन निर्देशक
परिक्षण क्षेत्र, सुरक्षित क्षेत्र
परिविक्षाधीन अधिकारी
निर्देशन ठेकेदार

[ら行]

वाणिज्यदूत
वाणिज्यदूतावास

第 4 法令名

[あ行]

あへん法

安保条約

(日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約)

医師法

意匠法

医療法

ウィーン条約

(領事関係に関するウィーン条約)

恩赦法

[か行]

外国為替及び外国貿易法

外国裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法

海上交通安全法

海上衝突予防法

覚せい剤取締法

家事事件手続規則

家事事件手続法

学校教育法

割賦販売法

火薬類取締法

関税定率法

関税法

警察官職務執行法

警察法

刑事訴訟規則

刑事訴訟費用等に関する法律

刑事訴訟法

刑事補償規則

刑事補償法

競馬法

[あ行]

अफिम सम्बन्धि कानून

सुरक्षा सन्धि (जापान र अमेरिका बीच आपसी सहयोग र सुरक्षाको सन्धि)

चिकित्सा व्यवसायी कानून

डीजाइन सम्बन्धि कानून

चिकित्सा सेवा कानून

भियना सन्धि (वाणिज्य दूतावास सम्बन्धि भियनाको सन्धि)

माफी सम्बन्धि कानून

[का行]

विदेशी विनिमय तथा विदेशी व्यापार सम्बन्धि कानून

न्यायिक सहायताको लागि विदेशी कोर्टको अनुरोध

समुद्री यातायात सुरक्षा सम्बन्धि कानून

समुद्रमा टकराव रोक्ने सम्बन्धि कानून

उत्तेजक पदार्थ नियन्त्रण कानून

घरधन्दाको गतिविधि प्रक्रिया नियम

घरधन्दाको गतिविधि प्रक्रिया कानून

विधालय शिक्षा कानून

किस्ता बिक्री सम्बन्धि कानून

विस्फोटन पदार्थ नियन्त्रण कानून

भन्सार महसूल कानून

भन्सार सम्बन्धि कानून

प्रहरी जिम्मेवारी कार्यन्वयन व्यवस्था

प्रहरी व्यवस्था

अपराधिक प्रक्रियाको नियम

अपराधिक प्रक्रियाको लागत सम्बन्धि कानून

अपराधिक प्रक्रियाको कोड

अपराधिक क्षतिपूर्ति सम्बन्धि नियम

अपराधिक क्षतिपूर्ति सम्बन्धि कानून

घोडादौड सम्बन्धि कानून

| | |
|--|---|
| 軽犯罪法 | सानातिना ठेस कानून |
| 刑法 | दण्ड सम्बन्धि कानून |
| 検察審査会法 | मृत्यु सम्बन्धि जांचको लागि कानून |
| 検察庁法 | सार्वजनिक अभियोजनको कार्यालय सम्बन्धि कानून |
| 憲法 (日本国憲法) | जापानको संविधान |
| 公害罪法 (人の健康に係る公害犯罪の処罰に関する法律) | प्रदूषण अपराध कानून (मानव स्वास्थ्य सम्बन्धित प्रदूषण अपराधको सजाँय सम्बन्धि कानून) |
| 航空機の強取等の処罰に関する法律 | विमानको गैरकानूनी जफत आदिको सजाँय सम्बन्धि कानून |
| 航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律 | हवाई यातायातमा खतरा उत्पन्न गर्ने गतिविधिको सजाँय सम्बन्धि कानून |
| 更生保護法 | अपराधीको पुनर्वास सम्बन्धि कानून |
| 国際捜査共助法 | अन्तर्राष्ट्रिय अनुसन्धानको सहायता सम्बन्धि कानून |
| 国籍法 | राष्ट्रियता सम्बन्धि कानून |
| 戸籍法 | परिवार दर्ता सम्बन्धि कानून |
| 国家賠償法 | राज्य सुधारने कानून |
| [さ行] | [さ行] |
| 裁判所法 | अदालत संगठन कानून |
| 酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律 | रक्सी खाई मात्तेर सार्वजनिक स्थलमा साइकल चलाई अरुलाई दुख दिने क्रियाकलापको नियन्त्रण सम्बन्धि कानून |
| 自転車競技法 | साइकल दौड सम्बन्धि कानून |
| 児童買春,児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律 | बाल देहव्यापार, बाल अश्लील क्रियाकलाप सम्बन्धि नियम तथा सजाँयका साथै बाल संरक्षण सम्बन्धि कानून |
| 自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律 | साइकल चलाएर मानिसको मृत्यु वा घाइते बनाउने क्रियाकलापको सजाँय सम्बन्धि कानून |
| 児童福祉法 | बाल कल्याण कानून |
| 銃砲刀剣類所持等取締法 | हातहतियार र तरवार नियन्त्रण कानून |
| 出入国管理及び難民認定法 | अध्यागमन नियन्त्रण तथा शरणार्थी मान्यता सम्बन्धि कानून |
| 少年院法 | किशोर प्रशिक्षण स्कूल सम्बन्धि कानून |
| 少年鑑別所法 | किशोर वर्गीकरण केन्द्र सम्बन्धि कानून |

| | |
|---|---|
| 少年審判規則 | किशोर कार्यवाहीको नियम |
| 少年の保護事件に係る補償に関する規則 (少年補償規則) | बाल संरक्षण घटनाको क्षतिपूर्ति सम्बन्धि नियम (बाल क्षतिपूर्ति नियम) |
| 少年の保護事件に係る補償に関する法律 (少年補償法) | बाल संरक्षण घटनाको क्षतिपूर्ति सम्बन्धि कानून (बाल क्षतिपूर्ति कानून) |
| 少年法 | किशोर सम्बन्धि कानून |
| 商法 | व्यावसायिक कोड |
| 職業安定法 | रोजगार सुरक्षा सम्बन्धि कानून |
| 人身保護法 | व्यक्ति संरक्षण सम्बन्धि कानून |
| 新東京国際空港の安全確保に関する緊急措置法 | नयाँ टोक्यो अन्तर्राष्ट्रिय विमानस्थलको सुरक्षाको लागि आपतकालीन उपाय सम्बन्धि कानून |
| 森林法 | वन सम्बन्धि कानून |
| 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 | मानसिक स्वास्थ्य र मानसिक असक्षमताको कल्याण सम्बन्धि कानून |
| 船員法 | मल्लाह सम्बन्धि कानून |
| 船舶安全法 | जहाजको सुरक्षा सम्बन्धि कानून |
| 船舶職員法 | जहाज अधिकारी सम्बन्धि कानून |
| 船舶法 | जहाज सम्बन्धि कानून |
| 組織犯罪処罰法 (組織的な犯罪の処罰及び 犯罪収益の規制等に関する法律) | आयोजित अपराध, अपराध आयमा नियन्त्रण र अन्य विषयहरूको सजाँय सम्बन्धि कानून |
| [た行] | [त行] |
| 大麻取締法 | भाग नियन्त्रण सम्बन्धि कानून |
| 著作権法 | प्रतिलिपि अधिकार सम्बन्धि कानून |
| 通貨及証券模造取締法 | मुद्रा तथा जमानतको नक्कल नियन्त्रण सम्बन्धि कानून |
| 鉄道営業法 | रेल्वे संचालन सम्बन्धि कानून |
| 電気通信事業法 | दूरसंचार व्यापार सम्बन्धि कानून |
| 電波法 | रेडियो सम्बन्धि कानून |
| 盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律 | चोरी, डकैती आदिको रोकथाम तथा सजाँय सम्बन्धि कानून |
| 逃亡犯罪人引渡法 | भागेको अपराधी सुम्पने सम्बन्धि कानून |
| 道路運送車両法 | सडक साधन सम्बन्धि कानून |
| 道路交通法 | ट्राफिक नियम सम्बन्धि कानून |
| 毒物及び劇物取締法 | विषालु तथा घातक पदार्थ नियन्त्रण सम्बन्धि कानून |

[な行]

日本国憲法

日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約 (安保条約)

日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第 6 条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定の実施に伴う刑事特別法

日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定の実施に伴う刑事特別法

[は行]

売春防止法

破壊活動防止法

爆発物取締罰則

罰金等臨時措置法

犯罪捜査規範

犯罪捜査のための通信傍受に関する法律

犯罪者被害者等給付金支給法

犯罪被害者等の保護を図るための刑事手続に付随する措置に関する法律

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律

武器等製造法

法廷等の秩序維持に関する法律

暴力行為等処罰ニ関スル法律

保護司法

[ま行]

[な行]

जापानको संविधान

जापान र अमेरिका बीचको परस्पर सहयोग तथा सुरक्षाको सन्धि (सुरक्षा सन्धि)

जापान र अमेरिका बीचको परस्पर सहयोग तथा सुरक्षाको सन्धिको धारा ६ मा उल्लेखित सुविधा तथा क्षेत्रका साथै जापानमा अमेरिकी सैनिकको स्थिति सम्बन्धि सम्झौताको प्रवर्धनबारे विशेष अपराधिक कानून

जापानमा रहेको संयुक्त राष्ट्र सेनाको अवस्था सम्बन्धि सम्झौताको प्रवर्धनबारे विशेष अपराधिक कानून

[हंख]

देह व्यापार बिरुद्ध कानून

बिगार्ने गतिविधिहरु रोकथाम सम्बन्धि कानून

विस्फोटक पदार्थ नियन्त्रण सम्बन्धि कानून

जरिवाना सम्बन्धमा अस्थायी उपाय सम्बन्धि कानून

अपराधिक अनुसन्धानको लागि नियमावली

अपराधिक अनुसन्धान गर्ने उद्देश्यले टेलिफोनको लाइन रेकर्डिङ गरेर राख्ने सम्बन्धि कानून

अपराधीबाट पीडित आदिलाई क्षतिपूर्ति प्रदान गर्ने सम्बन्धि कानून

अपराधीबाट पीडित आदिलाई जोगाउन सम्बन्धित अपराधिक कार्यवाही गर्ने उपाय सम्बन्धि कानून

मनोरंजन र मनोरंजन व्यापार आदिको सीमा तथा कारोबारको अनुकूलन आदिसंग सम्बन्धि कानून

हतियार निर्माण सम्बन्धि कानून

अदालतको आदेश कायम सम्बन्धि कानून

हिंसात्मक क्रियाकलाप आदिको सजाय सम्बन्धि कानून

सुरक्षा न्यायिक सम्बन्धि कानून

[मंख]

| | |
|--|--|
| 麻薬及び向精神薬取締法 | नशालु पदार्थ तथा मानसिक असन्तुलन गर्ने औषधि नियन्त्रण सम्बन्धि कानून |
| 麻薬及び向精神薬取締法等特例法（国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律） | नशालु पदार्थ तथा मानसिक असन्तुलन गर्ने औषधि नियन्त्रण सम्बन्धि विशेष कानून |
| 未成年者飲酒禁止法 | नाबालिक रक्सी सेवन नियन्त्रण सम्बन्धि कानून |
| 未成年者喫煙禁止法 | नाबालिक धूम्रपान सेवन नियन्त्रण सम्बन्धि कानून |
| 民事訴訟法 | नागरिक प्रक्रियाको कानून |
| 民法 | नागरिक कानून |
| [や行] | [यय] |
| 有線電気通信法 | दूरसंचार एन |
| 郵便法 | हूलाक एन |
| [ら行] | [रर] |
| 領海及び接続水域に関する法律 | प्रादेशिक समुद्र तथा जोडिने पानीको क्षेत्र सम्बन्धि कानून |
| 領事関係に関するウィーン条約（ウィーン条約） | वाणिज्य दूतावास सम्बन्धि भियनाको सन्धि (भियना सन्धि) |
| 旅券法 | राहदानी सम्बन्धि कानून |
| 労働基準法 | श्रम मानक एन |

第 5 罪名

[あ行]

遺棄罪

遺棄致死傷罪

遺失物等横領罪

威力業務妨害罪

往来危険罪

横領罪

[か行]

覚せい剤取締法違反

過失傷害罪

過失致死罪

過失運転致死傷罪

危険運転致死傷罪

偽証罪

偽造外国通貨行使罪

偽造通貨行使罪

偽造無印公文書行使罪

偽造無印私文書行使罪

偽造有印公文書行使罪

偽造有印私文書行使罪

偽造有価証券行使罪

器物損壊罪

恐喝罪

強制わいせつ罪

強制わいせつ致死傷罪

脅迫罪

[あ行]

परित्याग अपराध

परित्यागको परिणामस्वरूप मृत्यु र चोट पाउने अपराध

हराएको सम्पति हिनामिना गर्ने अपराध

व्यापारको बलजफती वाधा गर्ने अपराध

यातायात खतरा अपराध

हिनामिना गर्ने अपराध

[か行]

उत्तेजक लागू पदार्थ नियन्त्रण कानून उलंघन लापरवाही गरी शारीरिक हानि पुर्याउने अपराध हत्या

लापरवाही ड्राइभिङबाट मृत्यु र घाइते भएको अपराध

खतरनाक ड्राइभिङका कारण मृत्यु वा घाइते हुने अपराध

झूठो वाचा गर्ने अपराध

नक्कली विदेशी मुद्रा प्रयोग अपराध

नक्कली मुद्रा प्रयोग अपराध

छाप नभएको नक्कली सरकारी कागजात प्रयोग अपराध

छाप नभएको नक्कली निजी कागजात प्रयोग अपराध

छाप भएको नक्कली सरकारी कागजात प्रयोग अपराध

छाप भएको नक्कली निजी कागजात प्रयोग अपराध नक्कली जमानत प्रयोग अपराध

सम्पति नाश अपराध

जबर्जस्ती या धम्कीबाट पैसा असुल्ने अपराध

अश्लील आक्रमण या दुर्व्यवहार सम्बन्धि अपराध

अश्लील आक्रमण या दुर्व्यवहारका कारण मृत्यु वा घाइते हुने अपराध

त्रास दिने अपराध

業務上横領罪
 業務上過失往來危険罪

 業務上過失傷害罪
 業務上過失致死罪
 強要罪
 現住建造物等放火罪
 建造物等以外放火罪
 建造物等延燒罪
 公印偽造罪
 公印不正使用罪
 強姦罪
 強姦致死傷罪
 公正証書原本不實記載罪

 公然わいせつ罪
 強盜強姦罪
 強盜強姦致死傷罪
 強盜罪
 強盜致死罪
 強盜致傷罪
 強盜予備罪
 公用文書毀棄罪
 公務執行妨害罪
 昏睡強盜罪

 [さ行]
 詐欺罪
 殺人罪
 殺人予備罪
 私印偽造罪
 私印不正使用罪
 死体遺棄罪
 重過失傷害罪
 重過失致死罪
 住居侵入罪

व्यापारमा हिनामिना गर्ने अपराध
 व्यावसायिक लापरवाहीले यातायातमा खतरा हुने
 अपराध
 हेरविचारमा लापरवाही शारीरिक हानि गर्ने अपराध
 हेरविचारमा लापरवाहीले मृत्यु हुने अपराध
 दबाब या जबर्जस्ती गर्ने अपराध
 मान्छे बस्ने संरचनामा आगो लगाउने अपराध
 घर बाहेकको बस्तुमा आगो लगाउने अपराध
 भवनमा आगो फैलाउने अपराध
 नक्कली सरकारी छाप प्रयोग अपराध
 सरकारी छापको अनाधिकृत प्रयोग अपराध
 बलात्कार
 बलात्कारबाट मृत्यु या घाइते हुने अपराध
 आधिकारिक प्रमाणित लेखमा झूठो प्रविष्टि गरेको
 अपराध
 सार्वजनिक अशिष्टता अपराध
 चोरी तथा बलात्कार अपराध
 चोरी तथा बलात्कारबाट मृत्यु या घाइते हुने अपराध
 चोरी
 चोरीबाट हत्या गर्ने अपराध
 चोरीबाट घाइते हुने अपराध
 चोरीको तयारी अपराध
 सरकारी कागजात नष्ट गर्ने अपराध
 सरकारी काममा बाधा पुर्याउने अपराध
 वेहोश बनाएर चोरी गर्ने अपराध

 [さ行]
 ठगी
 हत्या
 हत्याको तयारी अपराध
 नक्कली निजी छाप बनाउने अपराध
 ठगीमा नक्कली निजी छाप प्रयोग गर्ने अपराध
 लाश परित्याग अपराध
 बढ्दो लापरवाहीले शारीरिक हानि पुर्याउने अपराध
 बढ्दो लापरवाहीले मृत्यु हुने अपराध
 अरुको घरमा प्रवेश गर्ने अपराध

銃砲刀劍類所持等取締法違反

傷害罪

傷害致死罪

常習賭博罪

常習累犯窃盜罪

証人威迫罪

証拠隠滅罪

窃盜罪

贈賄罪

〔た行〕

逮捕監禁罪

逮捕監禁致死傷罪

單純逃走罪

通貨偽造罪

盜品等無償讓受け罪

盜品等有償讓受け罪

道路交通法違反

毒物及び劇物取締法違反

賭博場開帳罪

賭博罪

〔は行〕

背任罪

犯人蔵匿罪

非現住建造物等放火罪

売春防止法違反

放火罪

暴行罪

暴力行為等処罰ニ関スル法律違反

保護責任者遺棄罪

保護責任者遺棄致死傷罪

हातहतियार र तरवार नियन्त्रण कानूनको उलंघन
शारीरिक हानि

चोट पुर्याई हत्या गर्ने अपराध

जुवा खेल्ने बानी अपराध

चोरीमा बानी भएको चोरले चोरी गर्ने अपराध

साक्षीलाई तर्साउने अपराध

सबुत मेटाउने अपराध

चोरी

घूसखोरी

〔た行〕

गैरकानूनी गिरफ्तार गर्ने अपराध

गैरकानूनी गिरफ्तारको बेला मृत्यु या घाइते हुने
अपराध

सजिलोसंग भाग्ने अपराध

नक्कली मुद्रा बनाउने अपराध

चोरी भएका सामान निशुल्क प्राप्त गर्ने अपराध

चोरी भएका सामान सशुल्क प्राप्त गर्ने अपराध

ट्राफिक नियम उलंघन

विषाक्त र खतरनाक बस्तु नियन्त्रण व्यवस्था
उलंघन

जुवा खेल्ने स्थान खोल्ने अपराध

जुवा

〔は行〕

विश्वास या भरोसा तोड्ने अपराध

अपराधीलाई लुकाए राखेको अपराध

मानिस नभएको घरमा आगो लगाउने अपराध

देहव्यापार नियन्त्रण कानून उलंघन

आगो लगाउने अपराध

हिंसा अपराध

हिंसा सम्बन्धि सजाँयको कानून उलंघन

सुरक्षा अधिकारीद्वारा परित्याग अपराध

सुरक्षा अधिकारीको परित्यागद्वारा मृत्यु या घाइते
भएको अपराध

[ま行]

麻薬及び向精神薬取締法違反

身の代金目的誘拐取罪

身の代金目的拐取幫助罪

身の代金目的拐取予備罪

身の代金目的被拐取者收受罪

無印公文書偽造罪

無印私文書偽造罪

名誉毀損罪

[や行]

有印公文書偽造罪

有印私文書偽造罪

有価証券偽造罪

[म行]

नशालु पदार्थ तथा मानसिक असर गर्ने औषधि
नियन्त्रण एन उलंघन

फिरौतीको उदेश्यले अपहरण गर्ने अपराध

फिरौतीको उदेश्यले अपहरणमा सहयोग गर्ने
अपराध

फिरौतीको उदेश्यले अपहरणको तयारी गर्ने अपराध

फिरौतीको उदेश्यले अपहरित व्यक्ति प्राप्त गर्ने
अपराध

छाप नभएको सरकारी कागजातको जाली प्रयोग
गर्ने अपराध

छाप नभएको निजी कागजातको जाली प्रयोग गर्ने
अपराध

मानहानि अपराध

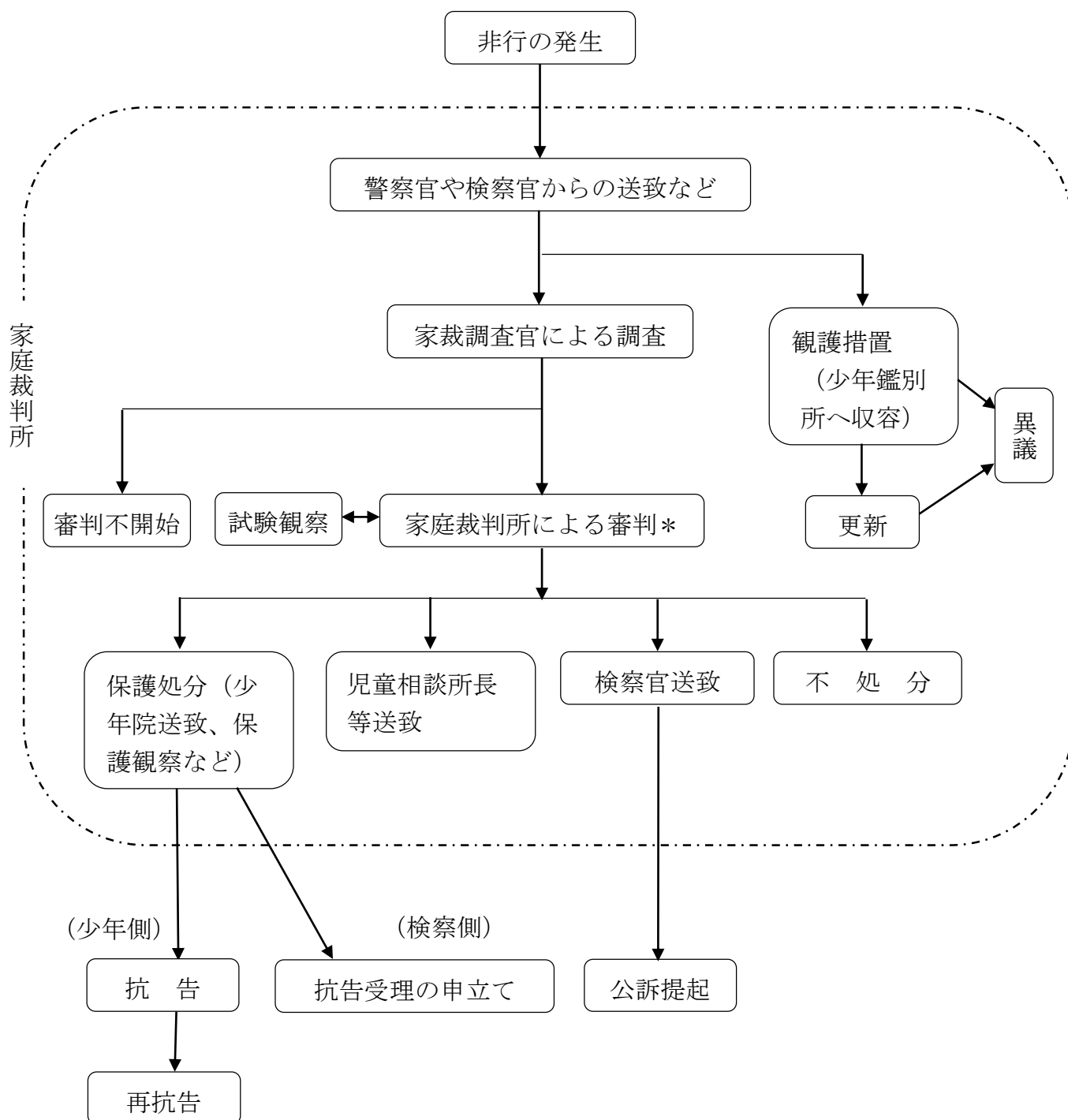
[य行]

छाप भएको सरकारी कागजातको जाली प्रयोग गर्ने
अपराध

छाप भएको निजी कागजातको जाली प्रयोग गर्ने
अपराध

जमानत जालसाजी अपराध

少年保護事件の手続の流れ



* 複雑困難な重大事件などでは、①3人の裁判官が審判したり、②検察官が立ち会うことがあります。